

インタビュー／遠藤克彦氏

相次ぐ公共建築のコンペとプロポで最優秀案

「建築都市デザイン学部」創設

学部長に就任して／建築学科 勝又英明 教授

WEBによる新たな試み

「進路支援プログラム」／前期・後期進路ガイダンス2020」開催

特集・「学ぶに如かず」 如学会の歩みー1

次の如学会に向けて、活動の足跡を辿る

「ヨックモック美術館」(設計・栗田祥弘) レポート

「山崎保育園」(設計・斎藤真一郎) 見学記

「女流ファイル」PART. 22

「都市大校友オンライン&如学会データベース」

■今年は世界的に疫病禍や自然災害に見舞われ、現代社会に生きる我々のおごりに警鐘を鳴らされたような年でした。

■わが東京都市大学建築学科においては、新設の「建築都市デザイン学部」始動の年、如学会としても新学部創設記念として、様々なイベントを企画しております。

■「建築100人展15周年」の記念の年でもあり、都市工学科及びその同窓会である緑土会と共に、「建築+都市/100+100人展」と銘打ち、準備を進めておりました。（「2020年春号」参照）疫病禍のため、今年は中止を余儀なくされましたが、今後の終息を願いつつ、来年度の開催を目指し、準備は継続していく予定です。

■一方、学生さんの就職に対する支援プログラムである「進路ガイダンス」は、「前期進路ガイダンス」を7月に、「後期進路ガイダンス」を10月・11月と2回に分けて、Webでの新しい試みで実施し、企業、学生の皆さんの多数の参加を得て、成果を上げることが出来ました。

■しかし、この期に何でもWebに置き換えて開催出来るとは限りません。今回は、そうしたことも認識する機会となりました。

■特に、「100人展」は、Web上での実施も企画しましたが、会場での展示とは全く異なり、情報が電波に

山岡嘉彌

(S46 卒)

如学会会長

より伝播、漏洩、複写、転載等々が容易であることが障害となり、出展の依頼に難色を示される企業が多くでてくることが判明し、この試みは再考することとなりました。

■一方、画期的な出来事として、Webを使ったZoom会議によって、東京以外の地域の同窓生との交流や、委員会の委員としての協力を得られるかけがえのない改革につながりました。

■更には、思いがけない疫病禍で、経済的に困窮し、通学が困難となっている学生さんに対し、奨学金として学費の支援を申し出してくれる同窓生の在籍する企業も現れたことは、嬉しいことです。

■さて、そうしたことで毎年の見学会や講演会、研修ツアーなどの実施も叶わず、来年に向けての準備をしております。

■そうしたことで、本号は、私共3期9年間の最終年度にあたり、総仕上げとして、主に現体制の中で築き上げてきた成果をまとめ、次の新体制へ引き継ぐための特集の誌面を作成しました。

（本号「その1」と次号の2021年春号に「その2」と続きます。）

■こうしてまとめてみると、あらためて、如学会の多くの同窓生の方々に如学会の活動にご参加、ご協力をいただいたことがわかります。特に、ご多忙の中「特別講義」の「特別講師」をお願いしましたその同窓生の数は、延べ222人。学生さんのために、ボランティアで夏の暑い最中、仕事の傍ら、パワーポイントを作成の上、ご講義をいただきました。

■更には、如学会の主要なイベントの「100人展」に出展していただいたり、「女流ファイル」他の記事に、多くの玉稿の執筆等にご協力いただいたことを感慨深く拝見しております。誌面を借りて、深く感謝申し上げます。

■今後も、様々な如学会行事に関わっていただき、ひとりでも多くの同窓生を紹介する場として如学会の誌面を活用していきたいと思います。自薦、他薦、ご協力をお願いします。

■新型コロナウイルスへの対応

今年2月下旬、前号の原稿執筆時点で忍び寄りつつあった新型コロナウイルスは、その後誰もが予想だにしない事態に発展しました。3月19日に予定されていた全体の卒業式・修了式は中止となり、学科・領域の授与式のみが行われましたが、それさえもまだ序曲にすぎませんでした。4月の入学式やオリエンテーション、フレッシュャーズキャンプ等は全て無くなり、授業開始は5月中頃まで延期され、様々な検討を行った挙句に、前期は全て遠隔授業となってしまいました。特に、新生活の期待に胸膨らませた建築学科の新入生が、一度もキャンパスに入れないまま後期を迎えることになってしまったことは大変気の毒としか言いようがありません。後期については、対面授業を部分的に復活させることを予定していますが、それとてどうなるかわかりません。残念ながら、世田谷祭や等々力祭は既に中止が決定しました。世界史に刻まれるであろうこの災厄がいつ終息するのか、今もって全く予断を許さない状況にあると言えます。

■内水氾濫への対応

さて、今回の原稿執筆時点である8月末、今年も台風の到来シーズンがやってきました。昨年の台風19号により甚大な被害を受けた世田谷キャンパスでは、コロナ禍をよそに、精力的に水害対策を進めてきました。

小見康夫

建築学科主任教授

建築学科の近況

地下・半地下のある号棟は、周囲に立ち上がり壁を巡らせるなどの対策が施され、これで多摩川の大規模な決壊でも起こらない限り（前回のような内水氾濫である限り）、建物が浸水する恐れは殆ど無くなったと言えるでしょう。写真のように、建築学科棟も立ち上がり壁で囲まれ、水没した製図室の換気装置等も全て更新されました。一日も早く通常のキャンパスライフが復活することを祈るばかりです。

前号でお伝えしましたが、本学科、都市工学科、都市生活学科から集まった教員らによる「内水氾濫被害アンケート調査WG」では、キャンパス周辺の多摩川沿いの地区を対象とした近隣住民へのアンケート調査をこの春に行いました。天野先生を中心に現在分析を進めているところです（これらについてはNHKの取材も受けており、報道される予定です）。

■建築都市デザイン学部

遅ればせながら、今年4月より「建築都市デザイン学部」が発足しました。出航早々、大嵐に遭遇した感がありますが、新しい生活様式、新しい社会へと潮目が大きく変わりつつある今、建築学科も新しい時代に向け、如学会の皆様のご協力を頂きながら、ワンチームで頑張っていく所存ですので、どうぞよろしく申し上げます。



建築学科棟と新設された立ち上がり壁

topics

「建築都市デザイン学部」創設 学部長に着任して



本年2020年4月1日に建築都市デザイン学部が新設されました。建築都市デザイン学部は建築学科と都市工学科の2学科から構成される学部です。文部科学省への申請上は、「新設」となっていますが、従来ありました工学科から建築学科、都市工学科の2学科が独立して改組されたものです。ご存知のようにこの2学科は、共に90年前の本学創立期にルーツをもちます。

建築都市デザイン学部は、学部名に「デザイン」という単語を組み入れたことが特徴です。建築学と都市工学とを合わせて「建築都市」とするのではなく、「デザイン」という言葉を

加えて、両学科から構成される学部の方向性を示しています。

私は、新学部新設により初代学部長として就任いたしました。昨年度、建築都市デザイン学部の構成員予定（建築学科、都市工学科の教員）の皆さんにより学部長選挙を行い私が選出されました。しかし突然学部長として選出されたものではありません。2020年4月の新学部設立の約1年8か月前、2018年5月に三木学長より新学部設立準備の要請があり、2018年11月に「建築都市デザイン学部」設置準備室が設置され、私がその室長に就任しました。

都市研究を担う都市大学の基幹学部として

●勝又英明

建築都市デザイン学部長

その流れで学部長に選出された訳です。なお準備室のメンバーは両学科教員と事務局職員の皆さんで構成され、約1年かけて文部科学省への申請作業を行い2019年4月文部科学省に申請し、その後設立を認められました。本学世田谷キャンパスは、2019年10月12日の台風19号により内水氾濫による幾つかの校舎の浸水があり大きな被害を受けました。約1年たった現時点でも使用できない箇所があるなど影響が残っています。さらに2019年の終わりに発生した新型コロナウイルスにより、2020年3月の卒業式の式典は中止となりました。新学部は2020年4月1日付で新設されましたが、入学式も中止となり、授業開始は5月、前期は全て遠隔授業、後期もハイブリット授業と新学部の船出の時期としては、前途多難に見えたものでした。新学部設立の記念行事も一切行うことができません。しかし、この2つの災難は建築都市デザイン学部のみ以降ってきたものではなく、浸水被害は本学全体、コロナ禍は大学や社会全体の話ですので、建築都市デザイン学部としては前に進むしかありません。浸水被害では学部として浸水被害の調査に取り組み、対外的にも発表を行いました。コロナ禍対策でも、建築学科と都市工学科の対話をする機会が工学科時代と比べると増えました。両学科が合同で教育や研究、広報を行う機会が特段に増えました。この両学科の結束を一層発展させて、両学科が構成する学部であること

の最大の長所とした学部を作っていきたいと思います。

東京都市大学「建築都市デザイン学部」の強みは何でしょうか？私は都市大内の関連する学部との連携ではないかと思っています。都市研究の都市大を標榜しており、その都市研究を主に担うのは、都市関係の学部です。建築都市デザイン学部、都市生活学部、環境学部の3学部が協働すれば、都市のハードからソフトまで、環境から都市、建築からインテリアまで、都市環境づくりからまちづくりまでと、建築・都市・環境に渡る幅広い領域の学問体系が形成されます。今の所、この3学部の連携は途についたばかりですが、次の世代では、教育、研究、社会活動の面で連携が深まることを期待しています。

なお、実は私の学部長としての任期は1年です。本学には7学部あり、全ての学部長は今年度までが任期となっています。ですから今年度中に来年度から任期3年間の2代目学部長が選出されます。私は今年度で定年退職となりますので、学部長の責務は今年度一杯となります。次期学部長も選挙で選出されますので、どなたが新学部長に就任するか分かりません。しかしどなたになりましても新学部を引っ張っていただけたと思います。如学会及び緑土会の皆様には、建築都市デザイン学部を温かい目で見守っていただき、絶大な応援を頂ければと思います。

（東京都市大学建築学科教授・S55卒）

「大阪中之島美術館」に続き「茨城県大子町新庁舎」「高知県本山町新庁舎」「長崎県佐々町新庁舎（2020年9月30日選定）」と、公共建築のプロジェクトに携わる遠藤克彦氏（H04卒、遠藤克彦建築研究所代表取締役）。これらすべての公募型設計コンペやプロポーザルで最優秀案に選ばれており、遠藤氏の提案する「構想」が行政（発注者）や審査委員会だけでなく、建築を使う市民も惹きつける。四つの公共建築と同時に、一戸建て住宅も設計。大規模から見えるもの、小規模からの気付きとは――。遠藤氏に近作を通じてこれからの建築を語ってもらった。

相次ぐ公共建築のコンペとプロポで最優秀案 遠藤克彦氏に聞く

文 ● 山口裕照（H10卒）
日刊建設工業新聞社



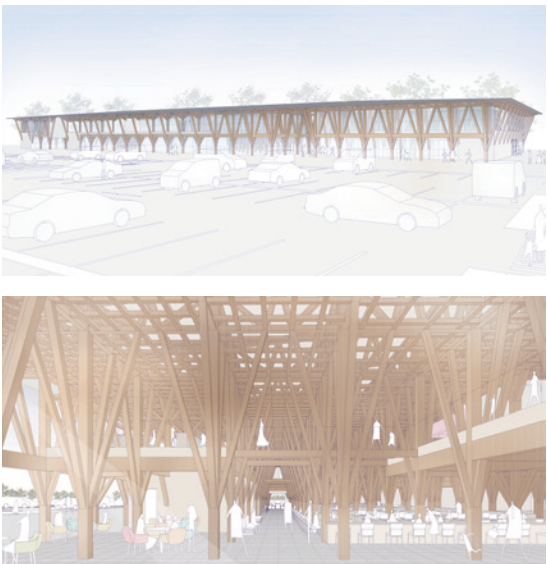
大阪中之島美術館
外観（上）・内観（下）イメージ

■ArtとEconomyの間を生きて

「大阪中之島美術館」は現在2022年早春の開館に向けて工事が着々と進んでいるところです。この建物は美術館という閉じたパブリックスペースを、都市にどうやって開くか、都市とどうつながかを最大のテーマにしています。2階がメインエントランスで、3〜5階に保管庫、展示室などの美術館機能をまとめ、一つのボリュームを宙に浮かすという、非常に

ケールを大事にしつつ、将来の組織改変に応えられる可変性と更新性を担保できるよう大きな一室空間を目指しています。歩留まりを考慮して定尺の木材が使えるように、木材組合が無垢材の接着技術の研究や県産材の確保に生き生きと取り組んでいるのを見て、この建築に活かしたいと考えています。

自ずと、構想が人を引っ張っています。構想が勝手に人を動かしていく。いま私は「自走する構想」をテーマにしています。スケールを超えて自ら走る構想が一番大切なのではと思っています。



茨城県大子町 新庁舎 外観（上）・内観（下）パース 遠藤克彦建築研究所提供

なのでRCにすると、防水的にも安全・安心な外壁を作ることができます。この町にも小さなオフィスを置いています。そうすると町の人が来て、いろんな話をしていただけ。町と一緒にすることが大事です。ここではローカルアーキテクトとして依光建築設計事務所（高知市）にコンペの段階から参加していただきました。依光（成元）さんに地域の協力を得てもらい、私たちが取りまとめていくという協働体制を敷いています。これからはこうした形が増えていくでしょう。地域と一緒に取り組み、最大の価値を提供していくことが重要だと考えています。

若いころベンチャーキャピタルの人たちと協働する機会があり、自分たちのコンセプトがどうしたら価値や信頼を手に入れていくのかを勉強していました。その時、彼らが投資先にお金だけでなく、人やノウハウも投入して応援していくことを学びました。こんな経験がエコノミーの側も重視する姿勢につながっていると思います。一緒に勉強していたのは建築設計界の人ではありませんが、そういう人たちが取り組んでいる革新的な価値創造の方法を、建築設計界ももっと勉強生かしていくべきです。

その上で、クライアントに対するバリューの提供には二つの方法があると思っています。最初にどちらの方法を採用するか決めておくことが重要と考えています。一つは、夢や希望がいっぱいだけどコストも膨らむため、しっかりとVEを行い、伴って時間も掛かるという方法。もう一つは、夢も希望もコスト的なリアリズムによってなるべく早い段階に判断し、夢は語らない代わりにコストも膨らまないという方法です。この二つの方法のうち、どちらにするのかをクライアントに判断してもらいます。二つを一緒にやると必ず問題が生じます。



高知県本山町 新庁舎 外観（近景）パース 遠藤克彦建築研究所提供

学部時代の設計の先生であった新居（千秋）さんが、私が教わっていた90年代前半に「これからプロポーザルの時代になっていく」と仰っていました。学部から大学院に移る間のたった半年でしたが、新居さんの下でプロポの特性を学び、プロポの時代に即した建築家像を見せていただきました。自身の話としては、当時はまだまだ遠い話だと思っていましたが、いざプロポを主戦場にするこ、新居さんの事務所で経験が生き

ます。彫刻家との違いは自分のお金で好きなものを作ればいいということではなく、クライアントのお金を預かっていることです。さらに言えば、クライアントのお金の価値を最大化すること、バリューを提供しなければいけないのです。公共建築は市民の税金でし、それは民間建築でも同じで、施主の大切な資金です。それを預かっている責任は非常に大きいと考えています。

■自走する構想

「茨城県大子町新庁舎」のコンペ当選案は、もともと延床面積6000平方メートル弱の規模でしたが、その後の町長選で庁舎計画の見直し縮小を掲げた立候補者が当選し、町長が代わりました。新しい町長は非常に明快な思考を持っている方で、今回は計画内容を絞り、後でいろんなことをやろうという方針を示した上で、面積を2割削減、コストも2割減らすよう求められました。そこで設計を再考し、ようやく再基本設計、そして実施設計が終わって確認申請を出そうとしていた矢先、台風19号（2019年9月）により敷地が浸水被害を受けました。

私もすぐに被災現場に向かいました。水に浸かっても大丈夫な建物を設計していても、あの惨状を目の当たりにしたら、本当にこの場所でのいかという思いに駆られました。ちょうどこのタイミングで東京理科大学に賃借していた高台にある町所有の高校跡地が返ってくることになり、町長も敷地を移すことを決断しました。高台の広大な土地が空いたので、そこに敷地を移すことになったのです。そんな時、茨城県が大子町の庁舎整備を応援したいと、木造の可能性あるのかと打診してきました。協議や申請の結果、補助金も適用され、純木造で設計することとなり、デザイン方針が大きく変わりました。

最初の敷地は浸水の可能性があり、プロポ案ではピロティの上に2層の建物で構成する鉄骨造3階建ての提案でした。次に町長が代わり、やはり水に浸からないように盛り土をして鉄骨造2階建てにする案となりました。そして敷地が高台に移り、純木造の建築へと変わってきました。前の敷地は川に近く船のように浮かす建築を構想しましたが、新しい敷地は丘の上ですから、ここには森の中のような木の建築が良いのではと考えた訳です。やはり建築は、場所が変われば改めてしっかりとコンセプトを立てて設計をしていくことが重要だと思っています。大子町にもオフィスを置き、町の皆さんと一緒に計画をまとめてきました。

この建築では、大きな軒を持つ大屋根の庁舎として、大子町の自然と呼応する新たな風景の創出を試みています。柱と柱の間隔は3・6メートルピッチの正方形グリッド。ヒューマンス

ています。新居さんも、原（広司）さんも、非常にコストに厳しい先生でした。良い鍛え方をしていたいたと思います。

■離れているけど一緒にいる

この三つの公共建築と同時期に、延床面積162平方メートルの住宅「系（つなぐ）の家」を手掛けていました。将来複雑化していくライフスタイルの変化を包含するため、シンプルなRC躯体と視認できる設備機能を意識して計画した住宅です。コンクリートに熱が蓄えられ、年間を通して穏やかな温熱環境を維持することを目的にしている、実際、最小限の設備で快適な性能を手に入れることができています。

大きな建築の施工中にこの住宅を計画したことにはすごく意味があると思っています。延べ約2万平方メートルの中之島美術館の50分の1の模型の横に、同じく50分の1のこの住宅の模型を置いています。そうすると、スケールを間違えなくなります。この住宅ができあがったことで大きな規模の建築のさまざまものが見えてきました。2万平方メートルから見えてくる情報量は非常に大きく手強い。建築家の諸先輩たちは本当にすごいと思うし、公共建築を設計する良い機会をいただいていると改めて感じています。

別荘、集合住宅、戸建て住宅、公共建築と経験を積み、段階を踏みながら気付きや学びを得てきました。建築は使い方によって全く違うものです。最近感じる点ですが、意匠設計者が、構造も設備をもインテグレートできた建築を示している例が少ないと思います。大学には意匠、構造、設備、環境、材料などの授業がありますが、各研究室に配属されて、その分野が分かれてしまい、他の分野をあまり意識しない。ゼネコンや設計事務所に就職しても各担当に分かれてしまします。意匠、構造、設備は最終的に形態として合わさるのに、設計者がそれらを統合してコントロールするところまで至っていないのが現実です。ただ決して悲観しているのではなく、ここに可能性や夢を持っています。

ポストコロナ、ウィズコロナの時代を見据えて、今後、「計画学」が見直されると思っています。密集していくような集まり方ではなく、離れて集まるといった、非常に難しい計画学が求められます。でもこれはチャレンジです。原さんは『集落の考』の中で「離れて立つ」ことの重要性を指摘しています。離散的に集落が成り立つ「離散型集落」のことをずっと仰っていました。が、当時は、集まるから集落なのには思っていました。コロナ禍の時代に、原さんの言葉が示唆している意味をもっと学ばなければいけないと思っています。離れているけど集まっている、一緒にいる。そんな建築を考えていきたいし、新しい計画学を探してみたいと考えています。

■地域と一緒に取り組み、最大の価値を提供していく

「高知県本山町新庁舎」のプロポーザルでは、総事業費10億円で延べ床面積3000平方メートルの建物を作りたいという要項でした。しかしプロポ案を考えてみても、どうしても予算が合わない。そこでプロポ提案の時点で、延べ2700平方メートルの案を提示しました。さらに選定いただいた後に町と一緒に設計を進めていく中で、庁舎建設等検討委員会の方々と必要な部署や面積、諸室数などを徹底的に議論し、基本設計終了時には2400平方メートルを下回る規模にまで絞り込み、無駄をそぎ落とした計画になりました。

建物はRC造3階建てで正方形の均等なグリッドプランになっています。躯体は非常にシンプルです。地方では新しい技術をそのまま持ち込んでも簡単にはできません。いかに地元で作れるか、地域産材をどれだけ使うことができるかが大切です。林業の町ですが、木造にしなければならなかった理由はコストです。また雨が多い土地柄

OB・OGによる オンライン 進路ガイダンス

東京都市大学建築学科同窓会・如学会主催

第8回 進路支援プログラム

2020

WEBによる新たな試み

〈Zoom「ブレイクアウトルーム」機能を利用〉

下の写真は、例年の「進路ガイダンス」の様子〔斉藤博:会場構成、丹羽謙治:会場構成・デザイン〕
本年は、コロナ禍により、大学構内での開催は叶わず、オンライン (Zoom) による「ブレイクアウトルーム機能」を利用した WEB での開催となった (p.9 参照)。



小林 茂雄 (教授) 教室顧問
斉藤 博 (S44) 委員長
石川 宣文 (H07) 副委員長
丹羽 謙治 (S48) 事業局長
露木 博視 (S55) WEB 担当
中野 秀之 (S58) WEB 担当
鎌田 寛人 (S62) 委員
泉山 一弘 (H06) 委員

企業の方々のご意見

ご感想

■ 多くの学生さんと会話が出来ました。理系 (建築) 学生へのアプローチに限られるためありがたい機会です。

■ 1 人でも多くの学生さんと繋がることが出来て良かったです。コロナで学生さんと繋がる機会が限られている中でオンラインで開催していただけたことに感謝しています。

■ 対面と比較してもかなりスムーズにできました。

■ 意欲ある学生と接点を持つことができました。

■ 小人数ですが構造設計の話をすることができましたので、参加した意味はありました。また、大学での構造設計の授業がないため、構造設計のイメージがし難いという、意見がありました。

■ WEB という事もあり、例年より多くの学生が参加してくれました。

■ 学生とのコミュニケーションがとれ、現状の理解ができました。

■ このような状況で Web でガイダンスを開催していただいたことは本当にありがたいことですが、有名企業に集客人数が偏りすぎ、我々知名度が低い企業は手も足も出ない状況でした。

■ リモートにも関わらず、多くの学生と接する事が出来ました。

改善のご提案

■ ブレイクアウトルームからメインルームに戻るまでが 15 秒程度で質問への回答が中途半端に終わってしまう事が何度かあったため、30 秒程度いたけるとまだ余裕を持って対応ができると思いました。

■ 一度ルームに入ってしまうと 20 分間動きがなかったので、もう少し出入りがあれば良いと思いました。

■ 20 分で強制退出してしまいがちな点だと思います。

■ 説明と質疑併せて、1 コマ 30 分程度は時間が欲しいです。

■ 学生の皆さんのお顔が見えるとより対話形式でできたと思います。(カメラ機能が前半オフの方が多かったため)

■ 会場開催に比べ、企業ごとの訪問者数に開きが生じた気がします。1 社ごとの入室者数制限を設けるなど、できるだけ分散する工夫をお願いしたいと思います。入室者が多い場合、時間制限もあり、傍観している学生も多いのではないのでしょうか。

■ ブレイクアウトルームの上限 200 人? だと有名な企業にいくらかでも集中してしまうので、上限をもう少し絞るなどしていただければ、こちらにも機会が巡ってきてありがたいです。

■ 1 回転の時間が短時間で会社説明をする時間が確保できないので、事前に資料提出等ができれば良いと思います。

■ 建築・不動産系の企業は水曜日が定休日の会社もあるため、可能であれば水曜日以外に開催日の選択肢をいただけますと幸いです。

前期進路ガイダンス

■ 日 時: 2020 年 7 月 22 日 [木] 14:00 ~ 17:00

■ 参 加: 企業数: 15 社 [各分野毎に代表 1 社]

■ 実施方法: オンライン (Zoom) [ブレイクアウトルーム機能]

学生数: 84 名

《業種別仕事紹介・講師リスト》

業種別仕事紹介 14:00-17:00 Zoom (ウェビナー)

開催主旨説明の後、以下の業種について 15 人の講師の方々にご用意いただいた動画を配信する予定です。

以下の OB・OG の方々に、それぞれのご専門領域の解説で紹介をしていただきました。

〔業種名〕		〔企業名〕	〔担当者 (卒業年)〕
1	官公庁等	川崎市	齋藤 史人 (H25)
2	アトリエ系設計事務所	アーキビジョン広谷スタジオ	石田 有作 (H04)
3	エンジニアリング系設計事務所	宮坂設計	宮坂 智信 (H09)
4	組織設計事務所	東畑建築事務所	辻村 典子 (H18)
5	組織設計事務所	三菱地所設計	江口 祥平 (H19)
6	総合建設会社 (準大手、構造設計)	五洋建設	桑原 健 (H29)
7	総合建設会社 (中堅、施工管理)	大本組	石川 宣文 (H07)
8	環境・設備関連	須賀工業	齋藤 大輔 (H29)
9	住環境関連	三井ホーム	住野 剛士 (H09)
10	住環境関連	大東建託	伊藤 達彦 (H25)
11	インテリア・ディスプレイ	ディー・サイン	川上 竜 (H23)
12	技術・材料関連	ノザワ	泉山 一弘 (H06)
13	鉄道・不動産・ディベロッパー関連	東急	打矢 潤市 (H12)
14	マスメディア	トランスコスモス	中村 彩香
15	海外留学・海外就職	スイス留学	根市 拓 (H26)

後期進路ガイダンス

■ 日 時: 【1 日目】2020 年 10 月 28 日 [水] 14:30 ~ 17:00

■ 参 加: 企業数: 58 社

【2 日目】2020 年 11 月 11 日 [水] 14:30 ~ 17:00

学生数: 82 名 (登録者数: 99 名) [1 日目]

■ 実施方法: オンライン (Zoom) [ブレイクアウトルーム機能]

(2 日目は、原稿メ切時点で未実施のため、次号で報告予定)

《業種別仕事紹介・企業リスト》

企業別仕事紹介 15:00-17:00 Zoom (ウェビナー)

・企業ごとのトークルームで OB・OG の方々と直接お話をさせていただきます。

・皆さんにとって生の情報を得られる貴重な場となると思います。

・トークルームは 1 回 20 分の入れ替え制とします (20 分ごとにルームから強制退出させていただきます)。

・入室者の多いトークルームでは、1 対 1 での対話が成り立ちにくくなりますのでご注意ください。

・現段階での進路 (目当ての業界・企業) の絞り込みは控え、幅広い企業の話聞くことを強く推奨します。

参加企業 2020 年度参加社 -58 社

(五十音順)

	1 日目参加企業 (10 月 28 日)	2 日目参加企業 (11 月 11 日)
官公庁者	川崎市	横浜市
アトリエ設計事務所		三上建築事務所
エンジニアリング設計事務所	造研設計	
組織設計事務所	東畑建築事務所、日本設計、松田平田設計、安井建築設計事務所	竹中工務店、東急設計コンサルタント、日建設計、ビーディシステム、三菱地所設計、山下設計
総合建設会社	大本組、五洋建設、佐藤工業、大成建設、大和ハウス工業、鉄建建設、東洋建設、戸田建設、巴コーポレーション、長谷川萬治商店	安藤・間、奥村組、鹿島建設、清水建設、スターツ CAM、西武建設、銭高組、大成コーレック、高松建設、東急建設、東京パワーテクノロジー、西松建設、前田建設工業、三井住友建設
環境・設備関連	須賀工業、大気社	新菱冷熱工業、東洋熱工業、西原衛生工業所
ハウスメーカー		
インテリア・ディスプレイ	ジーク、東急 Re・デザイン	ディー・サイン、三越伊勢丹プロパティ・デザイン
技術・材料関連	ノザワ	旭ビルウォール
鉄道・不動産・ディベロッパー関連	ジェイアール東日本都市開発、東急	伊藤忠アーバンコミュニティ、成田国際空港、森ビル
マスメディア・情報関連	建築資料研究社	総合資格
その他		TAK-QS (建築積算)、日本管財 (サービス業)

特別協賛: 建築資料研究社

協 賛: 大本組、旭ビルウォール、巴コーポレーション、伊藤忠アーバンコミュニティ、高松建設

進路ガイダンス 2020 報告

● 昨年の如学会進路ガイダンスの手ごたえ

学生ファーストの観点で、2019 年度から「進路ガイダンス」は、第 1 部「業種別仕事紹介」を 6 月に前倒しで実施し、第 2 部「企業別仕事紹介」を 10 月に開催しています。

従来の「業種別仕事紹介」の目的を「業界研究支援」と位置づけ、6 月に提供することにより、研究室を決める前に、各業界の仕事内容の理解を深め、自らの適性や資質、人生設計について良く考え、じっくりと進路を検討する時間を提供することができました。

さらに「やりたい仕事」をイメージして 10 月の「企業別仕事紹介」に参加することで、詳しく知りたい企業の OB に積極的にアプローチする姿勢や、知らなかった企業の OB とも対話する姿勢につながりました。豪雨災害の影響で、開催日の延期や開催場所の変更がありましたが、例年以上に活気のある進路ガイダンスとなりました。

● コロナ禍の就職活動

当初 2020 年度の「前期進路ガイダンス」は、6 月 17 日を予定していました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策で大学が入構禁止となったことで開催の目途が立たなくなり、開催日の延期が 4 月に決定しました。

5 月 26 日には緊急事態宣言が解除され、就活サイトで 6 月から就職準備情報の提供が始まりましたが、学生の間にはコロナ禍での就職活動への不安が急激に広がりました。

コロナ禍の就職活動支援のありかたについて理事会で協議を重ねた結果「情報委員会の協力を得てオンラインで、できる範囲の就職活動支援を行う」ことが決まりました。

● コロナ禍の如学会「前期進路ガイダンス」

進路ガイダンス委員会では「業種別仕事紹介」を「前期進路ガイダンス」、「企業別仕事紹介」を「後期進路ガイダンス」と呼び、区別しています。昨年の実績から「前期進路ガイダンス（業種別仕事紹介）」は、研究室決定前に提供したいカリキュラムです。そこで建築学科の研究室志望届の予備調査提出前の 7 月 22 日に、Zoom ウェビナーで開催することとしました。

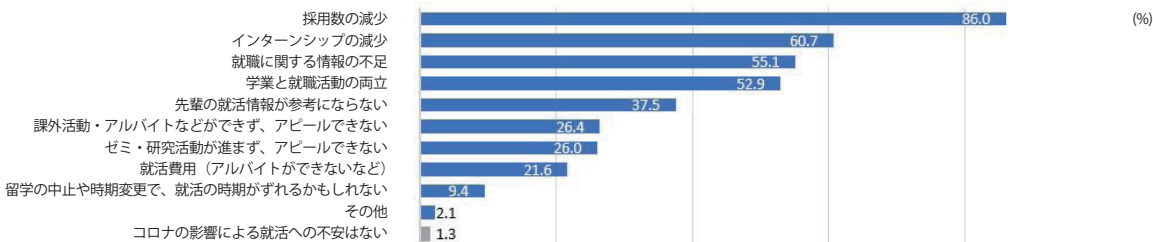
Zoom ウェビナーはホスト（情報委員会）と指定されたパネリスト（如学会会長、就職担当教授、進路ガイダンス委員会）がビデオや画面を共有できるように設計されています。学生は、視聴専用の出席者として参加し、Q&A、チャット、アンケートへの回答を通じて、パネリストとやり取りができます。

そこで「前期進路ガイダンス（業種別仕事紹介）」の登壇者に、ビデオの提供をお願いしました。

ビデオの内容は「仕事内容や業界への理解を深めることができ、学生が自己の適性を把握できるもの」と依頼しており、準備期間の短さやビデオ作製の手間などを考慮して、今回は昨年の登壇者を軸に調整しました。

登壇者のみなさまには、仕事内容をわかりやすく大変丁寧にご紹介いただきました。御多忙中のところ業界研究支援にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

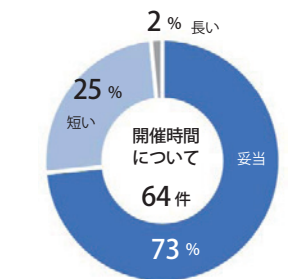
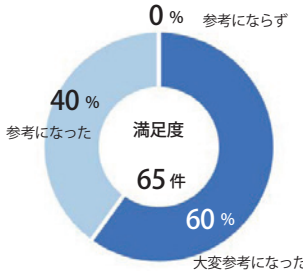
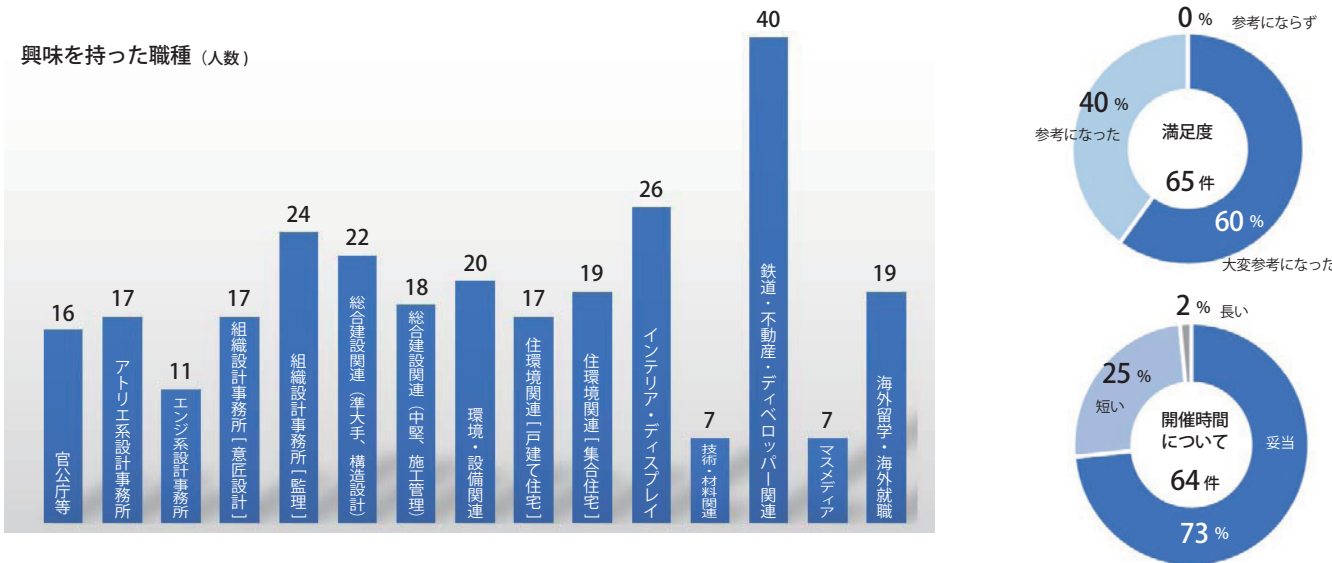
《コロナ禍の就活について不安なこと》



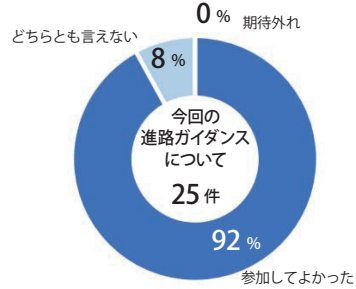
出典：2022 年卒学生の就活、不安なのは「採用数の減少」が 9 割近く。「先輩の情報が参考にならない」という声も【ディスコ調べ】

前期：学生 アンケート

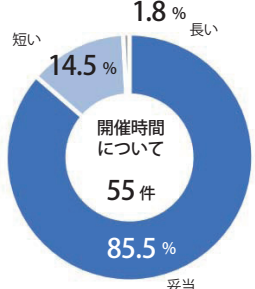
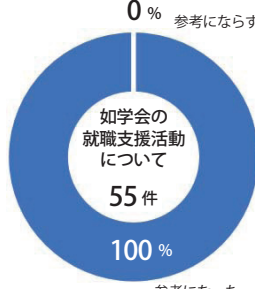
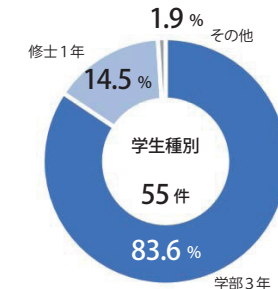
興味を持った職種（人数）



後期：企業アンケート



後期：学生 アンケート



学生の皆さんのご意見

■ 貴重なお話をリラックスした雰囲気でお伺いすることができ、参加して良かったです。特に進路相談室で相談させていただけたことが、進路を考える上で大変参考になりました。

■ いろいろな職種の方から話を聞いて、とても有意義な時間となった。

■ このご時世の中企業からの意見や自分が気になる質問などができたので非常に良かったです。

■ 研究室の卒業生からとの会社就職していたのかを調べてよかった。同じ研究室の先輩方のためどのように 4 年次を過ごして就活をしたかななどを詳しく伺うことができて今後の学生生活、就活どちらにおいてもよい機会になった。

■ コロナ禍でも OB 訪問や現場見学につながるきっかけとなった。

■ 一つ一つの時間は短く感じましたが、適切だと思いました。フリートークの時間を利用できるため、満足できました。

■ 業界研究及び企業研究に非常に役に立ちました。ありがとうございました。次回も参加させていただきたいと思います。

■ 本来なら実際にお会いしているような質問したかったが、ZOOM であったためにあまりたくさん聞くことができなかった。インターンも少なかったため企業のことを知ることが少なかったのではこの機会はとても有意義だと思った。

■ 今まで検討してことのない企業の話が聞いて勉強になりました

■ 普段あまり話を聞いたことがない企業なども話を聞くことができて、とても参考になりました。

■ 今までで応募していたが、インターンシップに参加できなかった企業の話も聞いてとても参考になった。

■ もっと多くの企業に参加していただきたかったです。

■ OB/OG の方と関われる貴重な時間になりました。ありがとうございました。

■ コロナ禍で大きなイベントに行くことができなかったため、様々な職種のお話を聞く機会があり良かったです。

■ OB・OG の方々から現場の声を聞くことのできる貴重な機会になりました。今年は中々実際に訪問するのは難しいので、今回の進路ガイダンスで得られるものが多かったと思います。

■ オンラインでの開催と聞き不安でしたが、とても分かりやすい進行方法でスムーズに企業のお話を伺いすることができました。個別の時間はちょうどよかったですが、もう一周くらい企業を回れる時間があればよいなと思いました。

■ 参加企業のほかに部門（意匠・構造・環境設備）の表記があるとさらに自分の希望のお話が聞けたのではないかと思います。

■ コロナ禍で就活に対して不安が多くありましたが、今回このような場を設けて頂きとても参考になりました。いろんな業界の話を聞くことができた経験はなかなかないのでとても充実した時間になりました。

■ 院進学が就職で迷っているので進路相談員の方とお話しできたのがよかった

■ 建築に関する多様な業種の話を知ることができました。逆に話を聞くほどどの企業も良いと思ってしまったため、しっかり自己分析をして自分がやりたいことを見極める必要があると改めて感じました。

■ 閉会後にフリーの時間をくださったことで、気になった企業さんにたくさんのお話を聞けたので良かったです。

■ 直接話すことのできる機会をつくってくださりありがとうございました。

■ あまり質問はできなかったが、有意義な話が聞けた。

■ 入社してからの流れや企業の強み、事業の具体的な内容など様々なことを知ることができました。そして OB の方との対話できる貴重な経験でもあったのでとても良いガイダンスだと感じました。

■ オンラインでの開催で少し不安があったのですが、聞きたいことも聞いて非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

■ 今日は自分の興味のある分野から、そうでない分野まで多くの話を聞くことができました。自分には人が少ない時間を選んで話をさせていただいたのですが、やはり 5 人程度になると 1 回も質問ができない人もいたので、もう少し長い時間が欲しい時もありました。

■ できればもっと多くの企業について聞いてみたかったです。

■ とても参考になったので次回も参加したいです。

■ OB,OG ならではの通常の合同説明会では聞けないようなことまで質問できる場があったのは就活生として大変ありがたく貴重な機会になりました。ありがとうございました。会社ごとに簡単な概要の後に質問の時間になるのか、20 分全部質問の時間になるのか統一されおらず、OB,OG の方々も困惑していたように感じられたので、統一するとより有意義な時間になると思いました。

■ 気軽にルームにはいれてよかった。

■ 幅広い企業について知る機会となりました。もっと他の企業についても知ることができたらもっと良い時間になったと思います。

■ OB・OG の方から直接お話を聞くことができたので、会社説明会が身近に感じられ、貴重な時間を過ごせました。

■ 自分の進路を考える上でとても参考になりました。

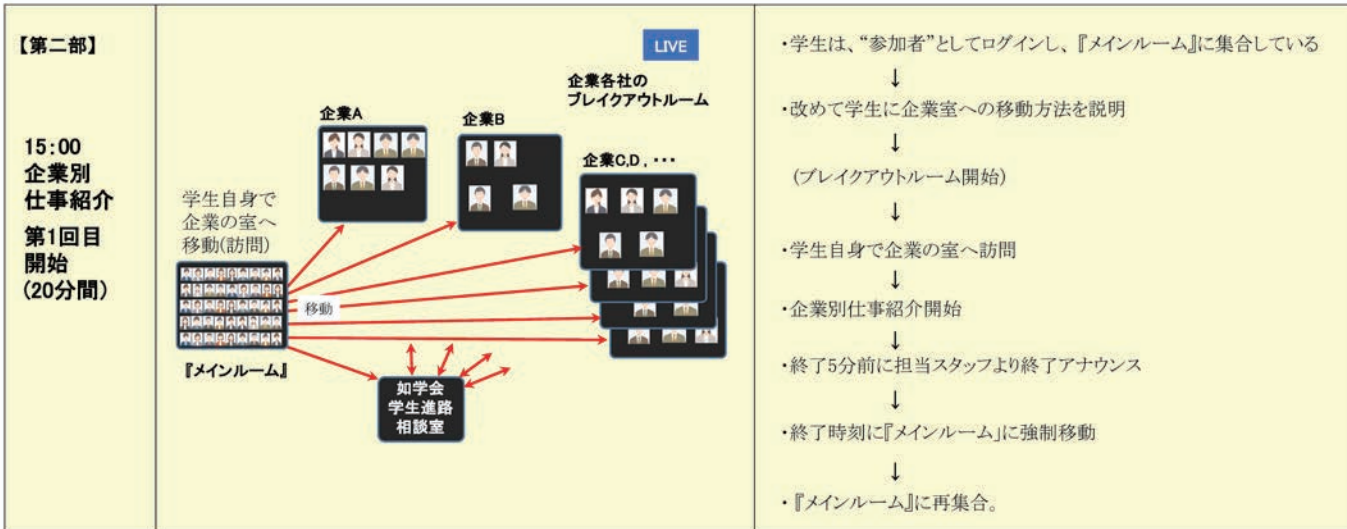
Zoom の「ブレイクアウトルーム」機能について

後期進路ガイダンス

如学会後期進路ガイダンスの目的は

- ① 本学建築学科の学生の就職、進学について OB・OG が親身になって相談に乗る場を提供すること
- ② OB・OG を通じて建築の世界や企業を知ること

Zoom のブレイクアウトルーム機能を利用することで、例年と同等のコミュニケーション環境を提供できました。



お問い合わせ：如学会「進路ガイダンス委員会」委員長 齊藤博（S44） Mail：toshibunka@t-lx.co.jp

馴染む外観、映える内観 鎌倉市の認可保育園「山崎保育園」見学記 2020年3月26日[木]

齊藤真一郎（H10卒）
齊藤建築設計事務所
同窓生の活躍―2



■ 春の日差しの中、大船駅から湘南モノレールで一駅の「富士見町駅」から歩くこと5分、閑静な住宅街の中に、その保育園は建っていた。設計者の齊藤真一郎氏とは、2018年に行った建築学科（H10卒）同窓会で、20年ぶりに再会した。その後、二度ほど同期の集まりで会い、このプロジェクトの話を聞いていた。鎌倉市に住む私にとって、山崎保育園はとても近く、現場のときから見学に行きたいと思っていたが、結局はこの内覧会となってしまった。

■ 木目と白を基調とした外観は、一見して保育園とは思えない。余計なものを排した広く心地よさそうな園庭には、遊具などがほどよく置かれ、子どもの外遊びにはうってつけだ。小さな丘もあり、子どもたちの走りまわる姿が想像できる。

■ 建替え前の園庭は、南側に面してはいるものの細長く使いづらい形状だったため、クライアントから「運動会ができる園庭に！」という強い要望があったとのこと。建物と園庭の配置を変え、西側に広く開けることで、見事要望を叶えていた。

■ シャープな外観は、一見、鉄筋コンクリート造？と思ってしまった。確か、鉄骨造だと聞いていたはず・・・そばに寄るとバルコニーがコンクリート打ち放しのキャンティスラブとなっていた。そのためその様な印象を受けたのだ。鉄骨の梁やデッキスラブではこのシャープな外観とはいかなかっただろう。

■ 建物に一步入ると、一転して木材を使用した温かな空間で、自然な光と風のながれを感じた。木材をふんだん使用しているが建材も上手く組み合わせて、コストを意識した作りとなっている。保育室はどの部屋も、照明が不要なくらいの自然光に溢れる設計となっており、風が通り抜けるなかでのお昼寝はさぞ心地よいことだろう。



撮影：猿山知洋（写真家）



文 | 三好敏晴（H10卒）
造研設計／構造設計一級建築士

ヨックモック美術館（2020年10月25日OPEN予定） 視察レポート 2020年8月22日[土]

栗田祥弘（H10卒）
栗田祥弘建築都市研究所
同窓生の活躍―3



■ バルセロナの旧市街地ブケリア市場を抜け、シュタリア公園の手前の路地を入るとピカソ美術館が見えてくる。古い邸宅の中庭を抜け中に入るとピカソの世界で埋め尽くされ、その中に絵画や陶器の作品が置かれている。窓から入るカタルーニャの明るい光がより鮮やかに作品をより印象的に見せてくれる。

■ そのピカソの作品に因んだヨックモック美術館はオーナーと一緒に設計者が土地探しから始め、南青山の住宅街の一角に建てられた。

■ 大き目の住宅に見える建物でマットな象牙色タイルの大壁の下に、ブルーの「YOKUMOKU - MUSEUM」のサインがさり気無く取り付けられているのでここが美術館だということが初めてわかる。

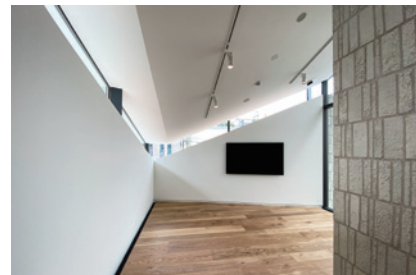
■ 美術館のエントランスは、ヨックモック本店と同じ印象的なコバルトブルー・タイルが張られたエレベーターの前を抜け、地面から浮かせた外壁との隙間を抜けた先にある。

■ ガラスで支えられたようなタイルの白壁の裏は…アースカラーのタイル壁と面一にロッカーが埋め込まれ、与えられた空間を無駄にしない設計者の心意気が見て取れる。

■ 美術館は1階から黒壁の階段を降り地下の展示室を見て回り、エレベーターで2階の外光の入る展示室へといざない、中庭の外部階段を降りて一階のカフェ・イベントスペースへと回遊する仕掛けとなっている。

■ 地下の展示室は企画展にも使えるように計画され、2階の展示室は、外光の下でピカソの陶器の明るい色づかいを五感で味わう、ヨックモックのお菓子作りと同様に、丁寧に作品が見られる「対話的展示空間」にしたいというオーナーの要望を具現化したもの。

■ 長い設計・工事期間の中で様々な検証・意見交換を積み重ね、纏め上げた設計者の思いが各所を見ることに伝わってくる。



撮影：山岡嘉彌

■ 中庭の吹き抜けを取り囲んで設けられた2階展示室は、壁と天井の間に屋根の勾配に沿ってガラスを入れ、中庭側の全面ガラスと合わせ豊かな光を展示室に採り込んでいる。

■ 目立たない形でサッシと木床の間にスリットを設け空調の処理を行なっているのも一見の価値あり。

■ 外階段を下りた1階の中庭はこげ茶色のセラミックタイルで敷き詰められ、切り取られた空からの日差しが株立ちのハナミズキにも降り注いでくる。

■ 中庭に面して「Art for cafe」（カフェ・ヴァーロリス）にはミニライブラリーが設けられ、各種の講演会やイベントなどにも利用され、ヨックモックのオリジナルのケーキやお菓子を楽しめるとのこと。

■ スウェーデンのYOKKMOKK市から店名を取ったヨックモックがお菓子を通じて培ってきたホスピタリティ、文化発信のお茶の時間FIKA（フィーガ）を味わえる空間となっている。

■ 設計者がこれまでこだわってきた、空間の切り取り、一つ一つの素材の扱いと色使いがコンパクトな建物の中で存在感を保ちながらもうまくまとめられている。

■ 建物のつくりは青色の印象的なタイルの壁をエントランスのアクセントに使い、象牙色タイルで外装の壁を作り、4色に焼かれた青色のセラミックの屋根（空からしか見えないのは残念）をガラスで浮かせ、材料の持つ質量・重さを感じさせない軽快な構成になっている。

■ 「テラジマハウス」、「和味大輔」、「花子」、「ウエハラコマチ」等の設計でも見られる、建物の分節化の手法が今回も具現化され、素材の使い方、色彩へのこだわり、ヒューマンスケールを常に意識した設計者のモノづくりの姿勢が感じ取られる、ヨックモックミュージアムであった。

■ 今後スケールが大きな建物を設計されるとき、これまでの設計と同様に栗田氏の同期の構造設計家・三好敏晴氏と組んで、どのような空間・素材・色調・構造の処理を見せてくれるのが楽しみにしている。

■ 展示内容が整備される11月以降に如学会主催の見学会を実施予定。（如学会HP及びメールマガジンでお知らせします。）



文 | 新居仁（S48卒）
新居デザイン・HAD 一級建築士事務所

「如学会 NEWS」・1999-2010 — その1



● 如学会の歩み―1

如学会会長●山岡嘉彌

学
ぶ
に
如
か
ず

今ふりかえる

「次の如学会に向けて」

特集

歴代の女性たちを一覧出来るカたちでまとめました。

「建築100人展」を次号に送り、それ以外の各事業の記録と連載記事「女流ファイル」の「特別講義」「如学会NEWS」、及び「その他の事業」（技術研修会・建築見学会・都市建築ツアー・講演会）の内、まずは如学会活動の四本の柱である「建築100人展」「進路ガイダンス」

本号と次号の二回に分けて掲載します。

本号と次号の二回に分けて掲載します。

そこでこの期に、「次の如学会に向けて」、回顧録の特集を組むことにしました。四半世紀を節目に退くことになりました。

私は「如学会NEWS」を手始めに、如学会に関わりはじめて25年。

如学会にとっても3期9年をつとめた現体制の最終の年度となります。

2020年は世界中に人々にとって、大きな節目となる年でしょう。



「如学会 NEWS」・2011-2020 — その2

2009 年からは、従来の B5 版変形サイズから A4 版へと変更し、誌面内容の大幅な充実と読み易い誌面を目指し、デザインやレイアウトに力を入れて制作してきました。

特集・Classmate's TALK 級友座談会・S48 卒 建築 100 人展 開催レポート 2010 年大宇展 2011 年銀座展 2011 年大宇展 出展者募集 都市大建築の将来像-1 「デザイン」の次は研究論文の活発化だ 卒業設計・論文 修士設計・論文 記事・渋谷コロキウム 「光文化と都市」 100 人展とシンパ開催 文化遺産の街歩きと重鑑島紀行 「女流ファイル」PART・3	オリオンの輝き 森と被災地を結ぶプロジェクトについて 東北地方における私の構造設計活動ほか 考・震災シンポジウム・レポート わたしたちは震災から何を学ぶか？ 震災体験とその後の復興への歩み-2 特集・東日本大震災 Classmate's TALK 紙上同窓会・S59 卒 「建築 100 人展 2011」開催レポート 卒業設計・論文 修士設計・論文 神奈川県建築士会会長インタビュー 「女流ファイル」PART・5 デジタル環境ならではのモノづくりを考える	清水建設技術研究所 技術見学会レポート 「J」A東京むさし本店 「小金井市民交流センター」 作品見学会レポート 震災体験とその後の復興への歩み-3 特集 1・東日本大震災 シンポジウム「考・東日本大震災〜その 2」 都市工学・建築学が連携し、考え、行動を」 如学会研修旅行レポート 被災地その後の視察 「久之浜」如学会青年委員会 特集 2・インタビュー「地域のアーキテクト・ビルダー」 特集 3・「建築 100 人展 2012」開催レポート 特集 4・「女流ファイル」PART-7 特集 5・卒業設計・論文 修正設計・論文	同期会の雄「六華会」(S32 卒)の軌跡 蘇我白匠の作品とその図面 文化庁・国立近代建築資料館開館 「人間のための建築/建築資料にみる坂倉準三」展 「茅ヶ崎シオン・キリスト教会・聖徳幼稚園」見学会 レポート 如学会「道路支援プログラム」 特集 1・「道路ガイダンス」開催される OB による就職・進学ガイダンス 報告レポート・アンケート集計 特集 2・追悼・江口禎先生 「建築 100 人展 2013・大宇展・銀座展」開催レポート 特集 3・「建築 100 人展 2014・大宇展・銀座展」開催予告 「女流ファイル」PART・9 卒業設計・卒業論文 修士設計・修士論文 蔵田貴・如学会賞	ウクライナ建築視察団来訪 「建築 100 人展 2014・大宇展・銀座展」開催 「建築 100 人展 2015・10 周年記念大宇展・美術館展」 開催予告 如学会「道路支援プログラム」 「道路ガイダンス・2014」開催 OB・OG による会社説明・懇親会 報告レポート・アンケート集計 追悼・北澤宏一学長 「住空間 eco デザインコンペディション」最優秀受賞 「日新工業建築設計競技」最優秀受賞 「新時代のガラスの可能性を探るツアー Phase・1」 「社会をデザインする先駆者が語る」(第 2 回) 「世間アーカイブ」 「女流ファイル」PART・11 卒業設計・卒業論文/蔵田貴・如学会賞 修士設計・修士論文	「建築 100 人展 2015・10 周年記念大宇展・美術館展」 開催 建築学生のための如学会「道路支援プログラム」 「道路ガイダンス・2015」開催 「蘇える武蔵工業会館」 「東京都市大学フェア in 静岡」 海外報告 「スキルアップ講座」開催 都市大建築の将来像-3 「女流ファイル」PART-13 卒業設計・卒業論文/蔵田貴・如学会賞 修士設計・修士論文	遠藤克彦氏「大阪新美術館」コンペ勝利 「建築 100 人展 2016 大宇展・上野浅草展」開催 建築学生のための如学会「道路支援プログラム」 「大成建設技術研究所・技術見学会」 「大成建設技術研究所・技術見学会」 「世界遺産・富岡製糸場」バスツアー 第 2 回「重鑑島をはかる」 「小中学校(70 号棟)耐震建築(31 号棟)最大の建物(65 号棟)をはかる」 如学会主催 建築学生のための道路支援プログラム OB・OG による道路ガイダンス 「建築 100 人展 2017 図書館展・大宇展・浅草展」開催 建築学科より 「都市大校友オンライン」登録について 「女流ファイル」PART-17 卒業設計・卒業論文 修士設計・修士論文 蔵田貴・如学会賞	インタビュー 東京オリンピック・パラリンピック ヨットレース会場となる「湘南港ヨットハウス」 設計者 西田勝彦氏 (S45 卒) に関する 「大成建設技術研究所・技術見学会」 「大成建設技術研究所・技術見学会」 「コトバキシーディング・技術見学会」 第 2 回「重鑑島をはかる」 「小中学校(70 号棟)耐震建築(31 号棟)最大の建物(65 号棟)をはかる」 如学会主催 建築学生のための道路支援プログラム OB・OG による道路ガイダンス 「建築 100 人展 2017 図書館展・大宇展・浅草展」開催 建築学科より 「都市大校友オンライン」登録について 「女流ファイル」PART-17 卒業設計・卒業論文 修士設計・修士論文 蔵田貴・如学会賞	海と砂漠の近未来都市デザインとループ・オブ・ ダイバシー 「ドバイ・アブダビ都市建築ツアー」レポート 「やま山・日本料理店」を設計・ウガンダに建築 建る広瀬謙二のディレクター「広瀬謙二建築展 S H +」 報告 如学会主催 建築学生のための道路支援プログラム OB・OG による道路ガイダンス 「建築 100 人展 2018 大宇展・浅草展」開催 追悼 中国正樹氏 「如学会の由来」 「女流ファイル」PART-19 卒業設計・卒業論文 修士設計・修士論文 蔵田貴・如学会賞	「広瀬謙二建築展 S H + 第二回」レポート 千代田生命ビルと街並み見学 (現・目黒区総合庁舎) 浅井アーキテクト作品見学会 三浦工務店本社+亀有香取神社 佐野プロジェクト、旧伊達医院改修計画 西郷須野まちづくりプロジェクト OB・OG による道路ガイダンス 「建築 100 人展 2018 大宇展・浅草展」開催 追悼 中国正樹氏 「如学会の由来」 「女流ファイル」PART-19 卒業設計・卒業論文 修士設計・修士論文 蔵田貴・如学会賞
特集・東日本大震災 震災体験とその後の復興への歩み-1 如学会研修ツアー 日土小学校と直島・犬島・豊島を訪ねて 都市大建築の将来像-2 夏期特別講義報告 浦井史郎氏講演会レポート 伊丹潤氏を偲ぶ 100 人展 出展者募集 会員委員会レポート 新刊図書館紹介 「女流ファイル」PART・4 2010 年度・定期総会・懇親会 報告 2011 年度・定期総会・懇親会 予告	中村英夫学長講演会レポート 「国土とインフラストラクチャー」 100 人展 案内・出展者募集 如学会活動の最新方針 特集 1・「学ぶに如かず」 新しい【如学会】を原点から考える 特集 2・広瀬謙二先生 追悼 特集 3・夏期特別講座 報告 「女流ファイル」PART・6 2012 年度・定期総会・懇親会 報告	中村英夫名誉総長インタビュー 手塚賞増教授講演会レポート「最新作を語る」 「国土とインフラストラクチャー」 100 人展 案内・出展者募集 如学会活動の最新方針 特集 1・「学ぶに如かず」 新しい【如学会】を原点から考える 特集 2・広瀬謙二先生 追悼 特集 3・夏期特別講座 報告 「女流ファイル」PART・6 2012 年度・定期総会・懇親会 報告	「住吉先生に感謝する会」レポート 「道路支援プログラム/道路ガイダンス 2014」 「被災地支援プログラム」久之浜スタディツアー 「江の島湘南港ヨットハウス」見学会 「建築 100 人展 2014」開催案内・出展者募集 北澤宏一学長インタビュー「東京都市大学の将来像とは」 北澤宏一学長講演会レポート 「日本の科学技術のポテンシャル」 特集・日本建築学会賞受賞を語る 近藤晴彦・満川明樹・羽鳥達也 内閣総理大臣賞受賞を語る 皆川達也 如学会・研修交流ツアー(共催・校友会、柏三水会、 柏岡技術士会、校友会台湾支部) 「台湾・近未来都市デザインと食文化を訪ねて」開催 高寄台・元駐日代表(大使)による校友会台湾支部 交流・ 懇親会「日本建築学会賞受賞を語る 近藤晴彦・満川明樹・羽鳥達也」 「わたらせ養護園」作品見学記 赤レンガ卒業設計展 「女流ファイル」PART・8 2013 年度・定期総会・懇親会 報告	堀端弘毅「日本建築大賞」受賞 福島加津也「日本建築学会賞(作品)」受賞 作品見学会「工学院大学 弓道場・ホクシング場」 「建築 100 人展 2015・10 周年記念大宇展・美術館展」 出展者募集 「金澤の最新建築と古都の風情と食文化を訪ねる旅」 上野の森美術館にて初の建築展として 「建築 100 人展 2015 巡回展」開催予定 「建築 100 人展・10 周年記念展」同時発刊 三木千壽子学長講演会レポート&インタビュー 追悼・望月重名名誉教授 「大林組技術研究所」見学会 「旧岩崎邸+東大本郷キャンパス」見学会 第 3 回「道路支援プログラム」予告 「夏期特別講義」報告 「赤レンガ卒業設計展」レポート 「女流ファイル」PART-12 第 3 回「社会をデザインする先駆者が語る」 如学会 2015 年度定期総会・講演会・懇親会報告	2016 年 熊本地震による文化財建造物の被害状況 函館・都市建築視察ツアー 「建築 100 人展 2016 大宇展・浅草展」出展者募集 東京都議会議員・川井しげお氏講演会レポート 追悼・高橋 一先生 演本車司教授 最終講演 「東芝ライテック技術見学会」L E D 照明を研修 如学会主催・校友会・柏三水会・坂倉準三実行委員会共催 忙しい人へのための 3 泊 5 日・バリ舞大ツアー 「坂倉準三」展 参加とコトバキシーディング+最新建築 視察ツアー 「建築 100 人展 2017」 初の大学図書館主催「図書館展」開催案内 「大宇展・浅草展」出展者・参加企業募集 「道路ガイダンス 2017」11 月 22 日開催 「女流ファイル」Part-14 「社会をデザインする先駆者が語る」Part-4 如学会 2016 年度定期総会・講演会・懇親会報告	政策研究大学院大学名誉教授 藤本久義氏講演「モノづくりとグローバル戦略」を語る 「夏期特別講義」14 人の卒業生が充実した講義 「重鑑島をはかる」島内最古の建物 30 号棟をはかる 追悼・木村富夫先生 六華会・母校で「卒業六十周年を祝う会」 「東芝ライテック技術見学会」L E D 照明を研修 如学会主催・校友会・柏三水会・坂倉準三実行委員会共催 忙しい人へのための 3 泊 5 日・バリ舞大ツアー 「坂倉準三」展 参加とコトバキシーディング+最新建築 視察ツアー 「建築 100 人展 2017」 初の大学図書館主催「図書館展」開催案内 「大宇展・浅草展」出展者・参加企業募集 「道路ガイダンス 2017」11 月 22 日開催 「女流ファイル」Part-14 「社会をデザインする先駆者が語る」Part-4 如学会 2016 年度定期総会・講演会・懇親会報告	遠藤克彦建築研究所 遠藤克彦氏 講演会 「近作について(大阪新美術館計画案ほか)」を語る 「夏期特別講義」14 人の卒業生が充実した講義 「重鑑島をはかる」島内最古の建物 30 号棟をはかる 追悼・木村富夫先生 六華会・母校で「卒業六十周年を祝う会」 「東芝ライテック技術見学会」L E D 照明を研修 如学会主催・校友会・柏三水会・坂倉準三実行委員会共催 忙しい人へのための 3 泊 5 日・バリ舞大ツアー 「坂倉準三」展 参加とコトバキシーディング+最新建築 視察ツアー 「建築 100 人展 2017」 初の大学図書館主催「図書館展」開催案内 「大宇展・浅草展」出展者・参加企業募集 「道路ガイダンス 2017」11 月 22 日開催 「女流ファイル」Part-14 「社会をデザインする先駆者が語る」Part-4 如学会 2016 年度定期総会・講演会・懇親会報告	トピックス：如学会講演会 西澤信二氏 聴講 レポート 「エンタテインメントシティ渋谷の実現に向けて」を 語る 宿谷昌則 教授 最終(再啓)講義「建築環境学 外論」 レポート 宿谷昌則 教授 懇親会兼再啓セミナー 「夏期特別講義」14 人の卒業生が充実した講義 「建築 100 人展・浅草展」出展者・参加企業募集 3 泊 6 日(機中 2 泊)「パース・シドニーの旅」 レポート 「T C U 学生・T A P 留学中の 2 大学を訪ねて」 「道路ガイダンス 2019」盛大に開催 「特別養護老人ホーム 花子」内覧会 「女流ファイル」PART-20 2019 年度如学会決算報告、2020 年度如学会予算 報告	インタビュー/住宅から公共建築まで・遠藤克彦 「建築都市デザイン学部」創設記念 「前期・道路ガイダンス」レポート WEB による新たな試み「後期・道路ガイダンス」 に向けて 新建築都市デザイン学部長に就任して／学部長 勝又英明 退任報告／名誉教授 大橋好光 児童施設館長に就任して／特任教授 手塚實晴 特集・如学会 9 年間の活動と今後に向けて-1 「ヨックモック美術館」(設計・栗田将弘)見学記 「山崎保育園」(設計・斎藤真一郎)見学記 「女流ファイル」PART-22 2019 年度如学会決算報告、2020 年度如学会予算 報告

2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋

3月11日 東日本大震災が発生。 3月31日 東日本大震災発生から1ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 7月17日 東日本大震災発生から4ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月2日 東日本大震災発生から5ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	2月29日 東日本大震災発生から2ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 5月5日 東日本大震災発生から3ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月11日 東日本大震災発生から6ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月8日 東日本大震災発生から7ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月16日 東日本大震災発生から8ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月26日 東日本大震災発生から9ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	3月6日 東日本大震災発生から10ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 3月16日 東日本大震災発生から11ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月7日 東日本大震災発生から12ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月17日 東日本大震災発生から13ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	3月14日 東日本大震災発生から14ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 4月7日 東日本大震災発生から15ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月7日 東日本大震災発生から16ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月17日 東日本大震災発生から17ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	7月5日 東日本大震災発生から18ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 7月17日 東日本大震災発生から19ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月1日 東日本大震災発生から20ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月19日 東日本大震災発生から21ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月5日 東日本大震災発生から22ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月6日 東日本大震災発生から23ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	1月1日 東日本大震災発生から24ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 3月26日 東日本大震災発生から25ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 4月 東日本大震災発生から26ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 5月27日 東日本大震災発生から27ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月3日 東日本大震災発生から28ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月31日 東日本大震災発生から29ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	1月25日 東日本大震災発生から30ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 6月26日 東日本大震災発生から31ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月22日 東日本大震災発生から32ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月5日 東日本大震災発生から33ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 12月8日 東日本大震災発生から34ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	4月27日 東日本大震災発生から35ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 6月18日 東日本大震災発生から36ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月6日 東日本大震災発生から37ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 9月16日 東日本大震災発生から38ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月1日 東日本大震災発生から39ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	7月18日 東日本大震災発生から40ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月1日 東日本大震災発生から41ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月9日 東日本大震災発生から42ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月12日 東日本大震災発生から43ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 10月13日 東日本大震災発生から44ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。	1月29日 東日本大震災発生から45ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 1月14日 東日本大震災発生から46ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 3月24日 東日本大震災発生から47ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 6月22日 東日本大震災発生から48ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 7月22日 東日本大震災発生から49ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。 8月24日 東日本大震災発生から50ヶ月。被災地の状況が明らかになり、復興への歩みが始まる。
--	---	--	--	--	---	--	--	---	--



「技術研修会・建築見学会・都市建築視察ツアー」・2011-2020

●「技術研修会」は、建設各社の技術研究所、メーカーの製造工場、ショールーム、新しい時代を反映したニューオフィスなどを見学、技術研修をしました。

●「建築見学会」は、如学会員による設計作品を、設計者本人による案内、解説を原則としています。

●「都市建築視察ツアー」は、その期の話題性のあるテーマをもとに、日頃多忙な如学会員が参加可能な週末、休日を含む3泊5日の海外ツアー及び国内ツアーを企画実行しています。

第1回 如学会技術見学会
2012.7.13(土)14:00 現地集合 現地解散
清水建設技術研究所・新本館・安全安産館
東京都江東区豊洲3-4-17 TEL:03-3620-5304
●解説 高橋 航一氏 (清水建設株式会社) 2012年7月
本年秋から「技術」「工芸」「材料」「施設」などに焦点をあてた「技術見学会」を開催します。
今回は、「先導」「本館」「天然ガス発電機」「コンクリートポンプ」「シールド」「ロボット」など、大規模な建設機械や設備の最新技術について、清水建設の最先端技術の中心にあり、2泊3日の日程で、下記を予定しています。
お申し込みください。
お問い合わせ先：清水建設株式会社 技術見学会事務局
03-3620-5304 (TEL) 03-3620-5305 (FAX)

技術見学会「清水建設技術研究所・新本館・安全安産館」
2012.07.13

第2回 如学会技術見学会
2013.6.28(土)14:30-16:30 東京会場
竹中技術研究所
〒東京都目黒区大塚1-5-1 TEL:0476-47-1700
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「竹中技術研究所」
2013.06.28

第18回 如学会作品見学会
2014.5.10(土)15:00 開会式
江の島 湘南港ヨットハウス
〒東京都江の島1-1-2
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

作品見学会「江の島 湘南港ヨットハウス」
(設計：西田勝彦/ヘルム+オンデザインパートナーズ)
2014.05.10

第4回 如学会技術見学会
2015.6.26(土)13:30-16:30 東京会場
大林組技術研究所
東京都墨田区下馬路4-440
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「大林組技術研究所」
2015.06.26

第15回 如学会作品見学会
日本建築学会賞(作品)受賞作品
工学院大学 弓道場・ボクシング場
2015.8.22(土)13:00 集合
東京都八王子市中野町2665-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

作品見学会「工学院大学 弓道場・ボクシング場」
(設計：福島加津也+富永祥子建築設計事務所)
2015.08.22

見学会「AGC 旭硝子：建築用ガラスの製造工場」
2016.07.22
旭硝子株式会社 旭硝子ビル
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「東芝 LED 照明ラボラトリー/CO-LAB」
2017.06.22

見学会「東京都立大学 新6号館」
堀場弘教授により設計説明
2018.07.21
東京都立大学 新6号館
〒東京都文京区本郷7-2-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

見学会「ウエハラコマチ」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2018.09.29

技術見学会「コトバキシーディング」
2018.02.28
コトバキシーディング株式会社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「コトバキシーディング」
2018.02.28

見学会「ウエハラコマチ」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2018.09.29
ウエハラコマチ株式会社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

見学会「ウエハラコマチ」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2018.09.29

技術見学会「コトバキシーディング」
2018.10.03
コトバキシーディング株式会社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「コトバキシーディング」
2018.10.03

見学会「ウエハラコマチ」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2018.09.29
ウエハラコマチ株式会社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

見学会「ウエハラコマチ」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2018.09.29

内覧会「特別養護老人ホーム 花子」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2019.03.21
特別養護老人ホーム 花子
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

内覧会「特別養護老人ホーム 花子」
(設計：栗田祥弘建築都市研究所)
2019.03.21

技術見学会「アイリスオーヤマ 東京オフィス」
2019.11.13
アイリスオーヤマ株式会社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

技術見学会「アイリスオーヤマ 東京オフィス」
2019.11.13

見学会「亀倉雄策邸」
(設計：浅井アーキテツク)
2020.02.15
亀倉雄策邸
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

見学会「亀倉雄策邸」
(設計：浅井アーキテツク)
2020.02.15

見学会「三浦工務店本社」
(設計：浅井アーキテツク)
2020.02.15
三浦工務店本社
〒東京都中央区新富町1-1-1
●集合場所：新大塚駅(有明線)徒歩1分(有明線)駅
●集合時間：開会式(午後2時)開会式(午後2時)開会式(午後2時)

見学会「三浦工務店本社」
(設計：浅井アーキテツク)
2020.02.15

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

2011
四国研修旅行
日土小学校と直島・犬島・豊島を訪ねて
2011.08.07-09

2012
「被災地その後」の視察と手塚貴晴+手塚由比両氏設計「南三陸あざひ幼稚園」落成記念見学会ツアー
2012.10.20-21

2013
台湾・近未来都市デザインと食文化を訪ねて
台湾校友会との交流・元・駐日大使との懇親会
2014.09.13-09.16

2014
金沢最新建築視察ツアー
金沢の最新建築と古都の風情と食文化を訪ねて
2015.03.14-03.15

2015
函館・都市建築視察ツアー
函館の歴史的都市景観と文化財建造物をして最新建築を訪ねて
2016.03.26-03.28

2016
「坂倉準三トリプル展」参加とコルビュジュ作品ほか最新建築見学会ツアー
2017.04.25-04.29

2017
ドバイ・アブダビ都市建築ツアー
海と砂漠の近未来都市デザインとルーブル・アブダビ見学
2018.10.18-10.22

2018
パース・シドニー視察ツアー
TCU 学生・TAP 留学中の2大学を訪ねてシドニーオペラハウスでミュージカル鑑賞
2019.06.21-06.26

2019
JAXA ロケット打上げ立会いと屋久島縄文杉、建築見学の旅
延期・日時未定

2020
中止
コロナ禍で種子島、屋久島へのツアーが不可となり、今年度は中止となりました。コロナ禍が終息の暁には再度企画する予定です。

2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2015
《 第1回 》	《 第2回 》	《 第3回 》	《 第4回 》	《 第5回 》	《 第6回 》	《 第7回 》	《 第8回 》	《 第9回 》	《 第10回 》
August 1 Monday	July 31 Monday	July 28 Saturday	August 5 Tuesday	August 4 Tuesday	August 3 Tuesday	August 3 Wednesday	August 3 Friday	July 6 Saturday	August 1 Saturday
1時限 プロコードコンサルティング 松成 和夫 (S50 卒) 『建築学科と知学会の歴史 蔵田周忠先生の足跡』	1時限 武蔵工業大学教授 岩崎 隆一 (S37 卒) 『基調講演』	1時限 三上建築事務所 益子 一彦 (S58 卒) 『「図書館と公共建築」 ー私の建築履歴ー』	1時限 プロコード・コンサルティング 松成 和夫 (S50 卒) 『武蔵工業大学建築学科と 日本の建築界の歴史』	1時限 プロコード・コンサルティング 松成 和夫 (S50 卒) 『東京都市大学建築学科と 日本の建築界の歴史』	1時限 メタノミー 嶋根 泉 (S58 卒) 『海外留学の意義』	1時限 プロコード・コンサルティング 松成 和夫 (S50 卒) 『東京都市大学建築学科と 日本の建築界の歴史』	1時限 東急不動産 SC マネジメント 大久保 次朗 (H05 卒) 『商業施設開発の事例 「東急プラザ参道原宿」』	3時限 栗田祥弘建築都市研究所 栗田 祥弘 (H10 卒) M.A.D 基 真由美 (H12 卒) 『まちづくりワークショップ』	1時限 一級建築士事務所 すずき 鈴木 宏亮 (H14 卒) 『アトリエ事務所で建築に携わること』
2時限	2時限 元・校設計 阿部 寧 (S38 卒) 『建築の生涯』	2時限 トシ・ヤマサキまづくり総合研究所 山崎 敏 (S47 卒) 『高齢者福祉施設の現在』	2時限 日建設計 羽鳥 達也 (H08 卒) 『組織設計事務所での設計活動』	2時限 日建設計 羽鳥 達也 (H08 卒) 『組織設計事務所での設計活動』	2時限 エス・バイ・エル 小森 亮子 (S54 卒) 『住宅産業の現在』	2時限 I O N 池田 勝彦 (S59 卒) I O N 井出 勤 (S59 卒) 『住宅設計は生活のデザイン』	2時限 Sola associates 川村 和広 (S62 卒) 『ライティング・デザイン』	2時限 旭硝子 舟岡 努 (S52 卒) 『ガラスによるファサードの変遷と エンジニアリング』	2時限 Arup 東京事務所 奥村 祐介 (H19 卒) 『建築とエンジニアリング』
3時限 元・東京都 杉山 裕 (S37 卒) 『公共建築と行政の役割』	3時限 アトリエCOSMOS 白鳥 健二 (S41 卒) 『空間の旗』	1時限 アイベック・ビジネス教育研究所 関根 健夫 (S54 卒) 『建築の実務とコミュニケーション能力』	3時限 日本設計 讃井 章 (H08 卒) 『公共建築をデザイン』	3時限 大成建設 鈴木 裕美 (S56 卒) 『構造設計の仕事とは』	3時限 隈研吾建築都市設計事務所 栗田 祥弘 (H10 卒) 『アトリエ事務所での役割』	3時限 竹中工務店設計部 堀内 通成 (S49 卒) 『竹中工務店設計部について』	3時限 東急電鉄 西澤 信二 (S59 卒) 『「渋谷がカリエ」 次の渋谷が動きだす 2012 年』	3時限 大成建設 奥村 秀人 (H04 卒) 『超高層建築デザインと設計実務 (代ゼミタワーにおいて)』	3時限 新居千秋都市建築設計 新居 未陸 (H12 卒) 『mash up』
4時限 三菱地所設計 新居 仁 (S48 卒) 『プロジェクト研究「博覧会建築」』	4時限 三菱地所設計 新居 仁 (S48 卒) 『プロジェクト研究「博覧会建築」』	2時限 竹中工務店 瀬戸 完一 (S46 卒) 『プロジェクト開発』	4時限 日建設計 丹羽 勝巳 (学外・神戸大学) 『設備計画の最前線』	4時限 日建設計 丹羽 勝巳 (学外・神戸大学) 『設備計画の最前線』	4時限 日本工学院八王子専門学校 廣瀬 幸男 (S50 卒) 『建築を教えるよろこび』	4時限 日本画家 奥村 俊道 (H03 卒) 『日本画と日本建築』	4時限 旭硝子 舟岡 努 (S52 卒) 『ファサードエンジニアリングの 現在と未来』	4時限 utac 建築設計事務所 杉本 拓海 (H11 卒) 『世界の広がりについて』	2時限 新居千秋都市建築設計 新居 未陸 (H12 卒) 『mash up』
August 2 Tuesday	August 1 Tuesday	July 29 Sunday	August 6 Wednesday	August 5 Wednesday	August 4 Wednesday	August 4 Thursday	August 6 Monday	July 13 Saturday	August 3 Monday
1時限 日本設計 倉斗 道夫 (S42 卒) 『意匠設計の豊かさ』	1時限 東急設計コンサルタント 中間 莊介 (S40 卒) 『建築だけでなく環境を造ろう』	1時限 アイベック・ビジネス教育研究所 関根 健夫 (S54 卒) 『建築の実務とコミュニケーション能力』	2時限 atelier calm 高橋 由美子 (H02 卒) 『物を活かして見るための内装計画』	1時限 三越建設 奥水 洋一 (S47 卒) 『インテリアの世界』	1時限 日本設計 小泉 治 (H01 卒) 『学ぶ空間づくりについて ～小学校から大学まで～』	1時限 乃村工務設計 向 隆宏 (S60 卒) 『「場」の持つ力』	1時限 旭硝子 舟岡 努 (S52 卒) 『ガラスによるファサードの変遷と エンジニアリング』	3時限 アーキヴィジョン広谷スタジオ 石田 有作 (H04 卒) 『建築を通して考えていること』	1時限 安井建築設計事務所 村松 弘治 (S57 卒) 『クライアントが求める BIM』
2時限 竹中工務店 小辻 武 (S43 卒) 『プロジェクト研究「温浴建築」』	2時限 大成建設 古舘 孝 (S46 卒) 『施工技術の最前線』	2時限 竹中工務店 瀬戸 完一 (S46 卒) 『プロジェクト開発』	3時限 長谷川大輔構造計画 長谷川 大輔 (H09 卒) 『構造設計の多様性』	2時限 すむ製作所 眞田 大輔 (H11 卒) 『住宅設計の魅力』	2時限 清水建設 田中 稔 (S57 卒) 『建築施工の管理と基本的技術』	2時限 野生司環境設計 伊東 俊之 (S56 卒) 『建築設計の楽しさ』	2時限 竹中工務店 片桐 岳 (S57 卒) 『Media n Architecture』	3時限 大成建設 奥村 秀人 (H04 卒) 『超高層建築デザインと設計実務 (代ゼミタワーにおいて)』	2時限 新居千秋都市建築設計 新居 未陸 (H12 卒) 『mash up』
3時限 山岡嘉彌デザイン事務所 山岡 嘉彌 (S46 卒) 『プロジェクト研究「集合住宅」』	4時限 東急電鉄 西澤 信二 (S59 卒) 『プロジェクト研究「セリアンタワー」』	2時限 メドックス 野口 哲英 (S40 卒) 『医療介護福祉の建築から経営まで』	4時限 デザインサークル 丹羽 譲治 (S48 卒) 『建築のまわりで』	3時限 荒川区営繕課 宇野 允 (H14 卒) 『行政側の都市計画』	3時限 多摩 NPO センター 橋本 正晴 (S40 卒) 『コミュニティーで今 何が起きているか』	3時限 職業能力開発総合大学校東京校 吉田 銀人 (S54 卒) 『構造デザインの可能性』	3時限 オフィス露木 露木 博視 (S55 卒) 『建築との関わり方』	4時限 三菱地所設計 古田島 雄太 (S58 卒) 『DHC (地域冷暖房) とは』	3時限 大林組 五十嵐 恵理子 (H04 卒) 『大林組の BIM の取組み』
August 3 Wednesday	August 2 Wednesday	July 30 Monday	August 7 Thursday	August 6 Thursday	August 5 Thursday	August 5 Friday	August 7 Tuesday	August 7 Wednesday	August 4 Tuesday
1時限 元・住友不動産 中村 陽一 (S38 卒) 『設計と施工の連携』	1時限 山下設計 早野 祐次郎 (S55 卒) 『建築構造における最新の耐震技術』	1時限 新日本住宅・木材技術センター 米澤 昭 (S54 卒) 『プロジェクトから建築まで』	1時限 竹中工務店 千原 健太郎 (S48 卒) 『海外での建築活動』	1時限 鹿島建設 土橋 裕美 (S59 卒) 『建築技術の最前線』	1時限 プロコード・コンサルティング 松成 和夫 (S50 卒) 『東京都市大学建築学科と 日本の建築界の歴史』	1時限 写真家 日暮 雄一 (H05 卒) 『ヴァンキュアー建築の魅力と 出会って』	1時限 大光電機 山田 圭太郎 (H15 卒) 『光 → 仕事 ← LED』	1時限 ダイワ高齢社会研究財団 澤田 詩野 (H10 卒) 『超高齢社会に求められる プロフェッショナルとしての建築家』	1時限 東急ホームズ 伊瀬知 佑子 (H17 卒) 『住宅設計の魅力』
2時限 元・住友商事 廣田 滋 (S37 卒) 『大規模プロジェクトにおける ディレクターの役割』	2時限 竹中工務店 片桐 岳 (S57 卒) 『CGを用いたプレゼンテーション技術』	2時限 縮本構造設計 中澤 昭伸 (S48 卒) 『免震・制震構造のすすめ』	2時限 リーテック 高橋 宏 (H07 卒) 『建築設計から不動産開発へ』	2時限 大成建設 近藤 正子 (S51 卒) 『医療福祉の現在』	2時限 AGC テクノロジーソリューションズ 佐藤 健一 (S59 卒) 『設備技術者の役割』	2時限 SDG 高橋 祐三 (H20 卒) SDG ド・グエン・トアン (H20 卒) 『構造デザインの展開』	2時限 日本設計 東 正典 (H01 卒) 『自分にとって建築とはなにか』	2時限 鈴木木工務店 鈴木 亨 (S46 卒) 『工務店のオヤジを、誤解していませんか』	2時限 AGC 硝子建材 島田 大 (H03 卒) 旭硝子 大島 直文 (H07 卒) 『日本の建築界における ガラスメーカーの役割について』
3時限 住友不動産 小川 邦彦 (S59 卒) 『プロジェクト研究「超高層ビル： 六本木・泉ガーデンビル」』	3時限 森ビル 弓削 昌義 (S57 卒) 『プロジェクト研究「ヒルズ」建築』	3時限 カシワギ・スイ・アソシエイツ 柏木 穂波 (H02 卒) 『私の設計手法』	3時限 旭硝子 舟岡 努 (S52 卒) 『ファサードエンジニアリングの 現在と未来』	3時限 Sアーバンプランニング 斎藤 博 (S44 卒) 『領域を超えて(戦略・コンセプト考)』	3時限 三菱地所設計 藤井 研一 (S57 卒) 『組織設計事務所におけるコスト管理』	3時限 SDG 高橋 祐三 (H20 卒) SDG ド・グエン・トアン (H20 卒) 『構造デザインの展開』	3時限 竹中工務店 柳澤 昌俊 (S45 卒) 『公務員とは何か?』	3時限 桑原茂建築設計事務所 桑原 茂 (H06 卒) 『大学を卒業してから、やってきたこと』	3時限 日建設計 田辺 裕美 (H17 卒) 『まちに学校を作る』
August 4 Thursday	August 3 Thursday	August 1 Wednesday	August 8 Friday	August 7 Friday	August 6 Friday	August 7 Saturday	August 8 Wednesday	August 8 Thursday	August 5 Wednesday
1時限 元・新菱冷熱 浜田 辰州 (S39 卒) 『設備設計から空間を考える』	1時限 新菱冷熱工業 谷津 和久 (S53 卒) 『設備設計からとらえた空間』	1時限 歴史環境計画研究所 秋山 邦雄 (S42 卒) 『文化遺産保存の今日的意義』	1時限 西山建築デザイン事務所 西山 広朗 (H07 卒) 『日本とフランスの経験の中で』	1時限 MAD 基 真由美 (H12 卒) 『私の設計手法』	1時限 SDG 相原 俊弘 (S40 卒) 『世界の構造家と私の構造計画』	1時限 アーキヴィジョン 本多 豊 (S57 卒) 『建築設計の楽しさ』	1時限 SDG 高橋 祐三 (H20 卒) SDG ド・グエン・トアン (H20 卒) 『構造デザインの展開』	1時限 台東区役所 伴 宜久 (S56 卒) 『台東区のまちづくり - 行政における建築技術者の役割 -』	1時限 イトーキ 松島 咲季子 (H21 卒) 『ワクワクする学びの場をつくる ～楽しく働くための秘訣～』
2時限 元・日揮カーテンウォール 木根 裕充 (S32 卒) 『私の昔ばなし』	2時限 竹中工務店 片桐 岳 (S57 卒) 『CGを用いたプレゼンテーション技術』	2時限 縮本構造設計 中澤 昭伸 (S48 卒) 『免震・制震構造のすすめ』	2時限 リーテック 高橋 宏 (H07 卒) 『建築設計から不動産開発へ』	2時限 岩崎建築研究室 小塩 明子 (H11 卒) 『マッキントッシュスクールと学校建築』	2時限 造研設計 三好 敏晴 (H10 卒) 『構造設計の楽しさ』	2時限 TOTO 出版 廣田 美紀 (H18 卒) 『建築メディアについて』	2時限 神奈川建築士会 花方 威之 (S40 卒) 『建築と法律 (公務員の仕事)』	2時限 みつデザイン研究所 廣谷 純子 (H07 卒) 『建築という仕事を通じて 持続可能な社会をつくる』	2時限 久米設計 豊永 正登 (S55 卒) 『総合組織設計事務所』
3時限 ブランテックコンサルティング 森永 一郎 (S61 卒) 『プロジェクト研究「商業施設」』	3時限 インテグレイテッド デザインアソシエイツ 矢田 康順 (S52 卒) 『コンベの面白さ、むずかしさ』	3時限 カシワギ・スイ・アソシエイツ 柏木 穂波 (H02 卒) 『私の設計手法』	2時限 日刊建設工業新聞 山口 裕照 (H10 卒) 『ジャーナリズムから見た建築』	3時限 森ビル 新井 章邦 (S63 卒) 『未来の都市像を描く』	3時限 井上尚夫総合計画事務所 井上 富美子 (S48 卒) 『私の住宅設計手法』	3時限 西松建設 戸田 順也 (S57 卒) 『最新オフィスビルの施工現場』	3時限 竹中工務店 岩崎 匠 (H12 卒) 『設計施工における設計』	3時限 ピースグループ 高成田 恵介 (H13 卒) 『室内気候空間が 建築デザインを変える?』	3時限 丹青社 中島 実 (S57 卒) 丹青社 丹田 和重 (H04 卒) 『博物館をつくること』
August 5 Friday	August 4 Friday	August 1 Wednesday	August 8 Friday	August 8 Saturday	August 7 Saturday	August 6 Saturday	August 9 Thursday	August 9 Friday	August 6 Thursday
1時限 セキスイハウス 吉田 正 (S59 卒) 藤田 弘樹 (S61 卒) 『住宅メーカーと住宅生産の実際』	4時限 三菱地所設計 山極 裕史 (S59 卒) 『丸の内再構築と事例』	4時限 八光建設 宗像 剛 (S56 卒) 『地方での建築活動』	1時限 西山建築デザイン事務所 西山 広朗 (H07 卒) 『日本とフランスの経験の中で』	1時限 合同会社 富川浩史建築設計事務所 富川 浩史 (H11 卒) 『建築家のつくるインテリア』	1時限 SDG 相原 俊弘 (S40 卒) 『世界の構造家と私の構造計画』	1時限 アーキヴィジョン 本多 豊 (S57 卒) 『建築設計の楽しさ』	1時限 Land Architects 高橋 修一 (H20 卒) 『海外と computational design』	1時限 大成建設 杉山 雄亮 (H17 卒) 『ゼネコン設計部の仕事』	4時限 リアルゲイト 岩本 裕 (H08 卒) 『建築プロセスという仕事について』
2時限 花輪建築構造設計事務所 花輪 紀昭 (S44 卒) 『構造設計の可能性』	2時限 伊藤父子トリエ 伊藤 朱子 (H06 卒) 『設計活動と私』	4時限 宗像和則建築設計事務所 宗像 和則 (S54 卒) 『地方でのまちづくり』	2時限 日刊建設工業新聞 山口 裕照 (H10 卒) 『ジャーナリズムから見た建築』	2時限 エネクスレイン 小室 大輔 (H03 卒) 『ドイツの最新建築と建築環境デザイン』	2時限 造研設計 三好 敏晴 (H10 卒) 『構造設計の楽しさ』	2時限 TOTO 出版 廣田 美紀 (H18 卒) 『建築メディアについて』	2時限 竹中工務店 千原 健太郎 (S48 卒) 『海外における建築活動』	2時限 清水建設 清水 康次郎 (S63 卒) 『建築現場 施工の楽しさについて』	2時限 佐藤エネルギーリサーチ 小田桐 直子 (H08 卒) 『環境コンサルティングの仕事』
3時限 ヘルム建築都市コンサルタント 西田 勝彦 (S43 卒) 『プロジェクト研究「福祉施設」』	3時限 インテグレイテッド デザインアソシエイツ 矢田 康順 (S52 卒) 『コンベの面白さ、むずかしさ』	4時限 竹中工務店 片桐 岳 (S57 卒) 『CGを用いたプレゼンテーション術』	4時限 日刊建設工業新聞 山口 裕照 (H10 卒) 『ジャーナリズムから見た建築』	3時限 宗像和則建築設計事務所 宗像 和則 (S54 卒) 『地方でのまちづくり』	3時限 井上尚夫総合計画事務所 井上 富美子 (S48 卒) 『私の住宅設計手法』	3時限 西松建設 戸田 順也 (S57 卒) 『最新オフィスビルの施工現場』	3時限 竹中工務店 岩崎 匠 (H12 卒) 『設計施工における設計』	3時限 ピースグループ 高成田 恵介 (H13 卒) 『室内気候空間が 建築デザインを変える?』	2時限 ヘルム建築都市コンサルタント 西田 勝彦 (S43 卒) 『プロジェクト研究「福祉施設」』

●「特別講義」は、本学建築学科卒業生のOB・OGによる如学会主催による、夏休み中に開催する5日間集中の寄付講座です。社会で活躍している如学会員が後輩の在校生のために、大学の教科では得られない建築界の実社会の仕事を具体的に講義をするものです。

●第1回は、主に新入生のために、建築界の幅広い世界を伝えるものでした。その後、ある程度の専門教育を受けてからの3年生を対象としたプログラムとなりました。更にその後、2年生の夏季休暇前に専門分野の研究室の配属希望申請をし、休暇明けに研究室の配属が決まることから、3年生の夏では遅すぎる、とのことから、2年生の夏に講義を受けるのが相応しい、とのことで、その後、この方針で定着してきました。

●やがて、正規のカリキュラムとして「選択科目」で「2単位取得」が可能となり、現在に至っています。2021年度からは「必修科目」で「1単位取得」となる予定です。

●特別講師をお引き受けして下さった同窓生の皆さんは、多忙な仕事の傍ら、パワーポイント資料を作成され、後輩である在校生のために、ボランティアで、充実した講義を実施してくれており、その内容は、卒業生にも大変に有意義なレクチャーとして、OB・OGにも公開し、広く聴講を可能にしております。

●是非、今後とも特別講師をおつとめいただく諸先輩方の自薦・他薦によるご参加と、聴講のご出席もお願いいたします。

2021 年度 総会・講演会・懇親会のご案内

現代世界建築を展望する

Overview of Contemporary World Architecture

日時： 2021 年 6 月 5 日 [土] 16:15 - 17:45

会場： 渋谷エクセルホテル東急 [フォレストルーム／6F]

東京都渋谷区道玄坂 1-12-2 (渋谷マークシティ内) TEL: 03-5457-0109

主催： 如学会／東京都市大学 建築学科同窓会

21 世紀に入ってからこの方、建設大国となった中国の牽引力で、世界の建築界は活気を呈してきた。そこにはザハ・ハディド・アーキテクト、OMA、ピヤルケ・インゲルス (BIG)、スティーヴン・ホールなど、スーパースター建築家たちの活躍が光っているが、彼らの次世代を担う建築家も台頭し始めている。その辺りを含めた話題の建築を紹介したい。



1 ©Laurian Ghinitoiu / 2 ©Takuji Shimmura / 3 ©Hiroyuki Oki / 4 Zhang Chao / 5 © Paul Warchol / 6 © Hedrich Blessing

淵上正幸氏

Masayuki Fuchigami

建築ジャーナリスト
(株)シネクティックス主宰

2018 年日本建築学会文化賞受賞。海外建築家との情報交換により、執筆、講演、インタビュー、海外建築ツアー等を手掛ける。主著に『世界の 建築家 51 人 - 思想と作品』(彰国社)、『ヨーロッパ建築案内 1-3』(TOTO 出版)、『もっと知りたい建築家：アーキテクト訪問記』(TOTO 出版)、『アメリカ建築案内 1-2』(TOTO 出版)、『世界の建築家 51 人：コンセプトと作品』(ADP)、『建築家をめざして』(日刊建設通信 新聞社)、『アーキテクト・スケッチ・ワークス 1-3』(グラフィック社)、『建築 手帳 2020』(青幻舎) など。

■ 定期総会 (フォレストルーム 6F)
15:30 - 16:00

■ 講演会 (フォレストルーム 6F)
淵上正幸氏
建築ジャーナリスト／シネティックス主宰
16:15 - 17:45

■ 懇親会 (フォレストルーム 6F)
18:00 - 20:00

建築ジャーナリスト／シネクティックス主宰 淵上正幸氏 講演会

本年はコロナ禍により、大学に入構できず、本来の夏期休暇を利用した特別講義が開催できず、やむを得ず中止となりました。

「Web 講義」も検討されましたが、大学以外に情報が漏洩する恐れが危惧され、参加を見合わせたい等、特別講師の候補者の意見があり、来年度以降のコロナ禍の終息を待ち、あらためて、従来同様に直接の講義を受けられる態勢となりましたら、開催することになりました。

主に 2 年生を対象とした、翌年の 3 年生での進路を決定するための参考となる重要な特別講義ですが、他学年の学生や 2 度目の受講も可能であり、来年度には、より充実した特別講義が開催できるように、担当者一同、準備していく所存です。

どうぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

―「特別講義」授業風景―



講義中



講義中



講義中



ワークショップ



懇親会

東京都市大学
建築学科同窓会
如学会



File 1 日建設計 片瀬 雪乃 (H17 卒) 「大勢の力が集って、ひとつの建物が造られていくことを実感」	File 13 カシワギ・スイ・アソシエイツ 柏本 穂波 (H02 卒) 「大学の同期とは異に進行形のつきあい、かけがえのない刺激的な存在」	File 25 タカギプランニングオフィス 安田 恵 (S64 卒) 「よいものを作り、維持するにはよい人間関係が必要」
File 2 日建ハウジングシステム 竹下 加奈子 (H17 卒) 「いかに人生をより楽しく過ごせるかを考えながら毎日を過ごす」	File 14 日本設計 佐藤 真紀 (H11 卒) 「自らの技術と知識を更新し、感性を磨き続けて、世界に誇れる質の高いものを目指していきたい」	File 26 atelier calm 高橋 由美子 (H02 卒) 「心地が良い」と思って頂けるようにたくさんある「お店作り」をしていきたい」
File 3 入江三宅設計事務所 川端 彩乃 (H18 卒) 「仕事外での仲間との交流も仕事の活気に反映」	File 15 富川浩史建築設計事務所 工藤 貴子 (H11 卒) 「多分野の才能とコラボで刺激を受け、決まり過ぎない多様な空気感を創出」	File 37 NTT ファシリティーズ 西村 陽子 (H17 卒) 「いろいろな立場を経験して、今、」
File 4 HONDEHOK 二村 陽子 (H06 卒) 「『トリマー』の職能確立を使命として活動『建築家』と『トリマー』を両立」	File 16 宮本忠長建築設計事務所 川向 涼子 (H14 卒) 「地方にはその土地ならではの風土文化の存在、働く場所として東京とは違った楽しみ方がある」	File 38 ジャパンパイル 庄子 夕香子 (H20 卒) 「『緑の下の方持ち』随でささえる仕事」
File 5 イケガミ 早速 さやか (H18 卒) 「植物のつかめない存在に魅力を感じて」	File 17 Aromau? 佐藤 恭子 (H12 卒) 「ネイル&アロマの店を開業。建築出身を活かし、将来的には地域密着のサービススペースを運営したい」	File 39 大田区本庁舎 高橋 礼 (H17 卒) 「働き続けること」
File 6 山岡嘉彌デザイン事務所 植谷 英子 (H14 卒) 「設計」と「育児」の両立を持ち前のパワーで奮闘中」	File 18 清水建設 大村 成美 (H14 卒) 「海外で学生生活を送れたこと、仕事の経験を積めたことが人生の大きな財産に」	File 40 日建設計 片岡 えり (H18 卒) 「ソフトとハードが一致してはじめて建物が生まれてくる」
春 号	春 号	春 号

File 58 イトーキ 松島 咲季子 (H21 卒) 「『学ぶことの楽しさ』『夢を持つことの大切さ』を伝えたい」
File 59 国際文献社 長谷川 朋子 (H03 卒) 「無駄な経験はない」
File 60 帝塚山大学 戸倉 三和子 (H02 卒) 「あをによし平城の京は咲く花のにほふがごとく今さかりなり」
File 61 川崎市 大木 佳子 (H20 卒) 「『まちづくり』に興味を持って」
File 62 三上建築事務所 永井 沙知 (H25 卒) 「まだまだ未熟者ですが」
File 63 森ビル 赤松 美和子 (H17 卒) 「大学と卒業してからの 8 年間」
春 号

- 今や本学の建築学科の学生の 30% 前後は女子学生です。3K といわれていた建設現場でも、今や「建設なでしこ」とも呼ばれ、多くの女性が頼もしく働く時代となってきました。

- 「女流ファイル」は、こうした建築系の社会の多方面で活躍する女性卒業生をご紹介します。

- 結婚、出産、育児といった働く女性の共通のテーマに対して、多くの示唆に富んだ執筆内容は女子学生の目標となるものです。

- 2010 年春号を第 1 回として始めた「女流ファイル」。自薦他薦いすれでも、元気な様子をご報告ください。

File 68 中田製作所 中田 理恵 (H17 卒) 「現場をひらく」	File 76 博覧 平山 彬子 (H20 卒) 「プロモーションの仕事はわくわくを伝える仕事」	File 84 大光電機 小口 尚子 (H17 卒) 「光と影をつくること」
File 69 トランスコスモス 二口 明日香 (H15 卒) 「入社してから振り返り、今思うこと」	File 77 ナウミスペース 相色 美佐江 (S56 卒) 「心地いい暮らしをつくるためのヒントを探る」	File 85 LIXIL 辻 洋美 (H14 卒) 「心地いい暮らしをつくるためのヒントを探る」
File 70 台東区 酒井 友紀恵 (H22 卒) 「私のやりがい」	File 78 日建ハウジングシステム 松永 咲子 (H18 卒) 「現場での経験と人との関わりを大事に」	File 86 前田建設工業 伊藤 彩子 (H13 卒) 「建設業界全体で働き方改革と生産性向上を共に実現したい」
File 71 佐藤エネルギーサーチ 小田桐 直子 (H08 卒) 「卒業して 20 年、自分が『できること』がやっとなってききました」	File 79 岡野建築設計事務所 鈴木 智子 (S52 卒) 「今だからできること」	File 87 NTT ファシリティーズ 成田 朝映 (H23 卒) 「社会の“当たり前”を支える仕事」
春 号	春 号	春 号

2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号	秋 号
File 7 M.A.D 基 真由美 (H12 卒) 『日常にあふれる 素晴らしい要素たち』	File 19 岩崎建築研究室 小塩 明子 (H11 卒) 『クライアントと一緒に 建物をつくりあげていく 姿勢を持ち続けていきたい』	File 31 蒸暑地域住まいの研究会 松田 まり子 (H12 卒) 『ドラマチックな展開、 そして多くの出会いに感謝。 夢はもっともっと膨らむ。』	File 42 NTT ファシリティーマネジメント 山内 理菜 (H21 卒) 『自分が今すべきこと ～価値ある建築を 生み出す為に～』	File 52 - B and. 一級建築士事務所 町田 美紀 (H10 卒) 『全てつながる 衣食住まで広がった私の原点』	File 64 東京都立墨田工業高等学校 白井 尚美 (H10 卒) 『あれから 17 年、 40 歳になりました』	File 72 アトリエ悠庵 國正 珠緒 (H01 卒) 『住宅の外装を良くする』	File 80 大成建設 本木 静香 (H04 卒) 『会社の流れに身をまかせ』	File 88 日建設計 澤口 花奈 (H26 卒) 『OJT から踏み出した一歩…』	File 93 戸田建設 戸田 千春 (H26 卒) 『恩師の教えを胸に抱いて』	File 99 NTT ファシリティーズ中央 柳 沙弥香 (H25 卒) 『施設常駐だからできる リアルタイムな F M 提案』
File 8 TOTO 廣田 美紀 (H08 卒) 『建築も茶道も奥が深い世界。 精進しながら 生涯つあいていきたい』	File 20 竹中工務店 秋山 裕子 (H13 卒) 『建築設計の仕事は 人の環境をつくるということ』	File 32 日建設計 中村 芽久美 (H18 卒) 『人と物の対話の大切さ』	File 43 乃村工務社 古長谷 莉花 (H21 卒) 『建築のとなりで』	File 53 大成建設 鈴木 裕美 (S56 卒) 『建築は楽しい』	File 65 東急ホームズ 伊瀬知 佑子 (H17 卒) 『道路を決めるということ』	File 73 森ビル 神田 春奈 (H19 卒) 『都市創りに携わって』	File 81 山下設計 工藤 真紀 (H19 卒) 『建築設計というしこと』	File 89 横浜市政府 羽生 晃子 (H19 卒) 『「住まいづくり」から 「まちづくり」の仕事へ』	File 94 丹青社 吉井 ちよ (H16 卒) 『社会にでてもから 「学ぶ」こと』	File 100 安藤・間 阿部 里衣菜 (H27 卒) 『学生時代には学ぶ機会が少ない 設備という仕事と役割』
File 9 井上尚夫総合計画事務所 井上 富美子 (S48 卒) 『女子社員に厳しかった昔。 好きな設計は 生涯続けた』	File 21 針谷建築事務所 石川 正子 (H15 卒) 『仕事でも プライベートでも 人の繋がりが大切』	File 33 ダイワ高齢社会研究財団 澤岡 詩野 (H10 卒) 『そこに住む人にとって 自分らしくいられる 居場所創りを目指して 試行錯誤の毎日』	File 44 町田ひろ子アカデミー ドロテア 町田 瑞穂 (H05 卒) 『ライフスタイルとインテリア』	File 54 アーキグラム 倉水 恵 (H06 卒) 『努力し 続けることについて』	File 66 水彩画作家 KINA 木南 沙織 (H12 卒) 『あきらめなければ、 成るように成る（と思う）』	File 74 日吉坂事務所 太田 温子 (H18 卒) 『携わり方について考えたこと』	File 82 東京急行電鉄 森川 敏 (H23 卒) 『三方よし目指して、 薬古物件の 経年劣化プロジェクト』	File 95 清水建設 星 千紘 (H25 卒) 『三現主義の仕事場にて』	File 101 TAK-QS 福下 山夏 (H25 卒) 『積算業務と竹中工務店の グループ会社としての役割』	
File 10 NEZU AIMO architects 根津 幸子 (H06 卒) 『オランダに留学後、 事務所を開業。 コンペ、プロジェクト等に挑戦中』	File 22 シアターワークショップ 林 恵子 (H13 卒) 『多くの人に永く愛される 素敵な劇場を 世の中に残していきたい』	File 34 新居千秋都市建築設計 浅井 百合 (H19 卒) 『付いていくだけで 精一杯の毎日から、 少しずつ、 視野を広げている最中です』	File 45 JAPAN MANAGEMENT 藤吉 里佳 (H22 卒) 『困っている人を 助けたいという気持ちで 建築に取り組むということ』	File 55 伊東豊雄建築設計事務所 伊東 美也 (H10 卒) 『海外での建築』	File 67 栗田祥弘建築都市研究所 栗田 麗香 (H10 卒) 『四十の手習い』	File 75 NTT ファシリティーズ 深澤 悠美 (H20 卒) 『設計の経験を活かし、 新しい分野への挑戦』	File 83 藤沢市政府 中村 苑子 (H23 卒) 『窓口の内側では …』			
File 11 日本大学助教・GA ヤマザキ 山崎 誠子 (S59 卒) 『山崎流、 自然から学ぶ庭づくり！』	File 23 日本設計 小池 聡子 (H08 卒) 『様々な職能の プロフェッショナルと協働で ものづくりをしていきたい』	File 35 山形県庁 大泉 明子 (H18 卒) 『育児をしながら 仕事すること ～制度を心地よく活用できる 職場環境にしたい～』	File 46 読売広告社 榎塚 まりや (H22 卒) 『「考える」を修行中』	File 56 入江三宅設計事務所 増野 郁子 (H03 卒) 『結婚・子育て… そして建築を続けること』	File 57 SOGO 建築設計 十河 麻美 (H16 卒) 『卒業してから』					
File 12 大成建設 徳野 博子 (H09 卒) 『子育てと設計の両立 周りに上手に頼ることもコツ』	File 24 SAISEI 馬淵 あゆみ (H14 卒) 『幼い子供の視点でもう一度 世界を体験しなおす』									

女流ファイル Part 22

社会の多方面で活躍する女性卒業生を
順次ご紹介しています。

柳沙弥香

(H25 卒)

■file-99 施設常駐だからできるリアルタイムなF M提案



YANAGI Sayaka (旧姓：露木)
2013 東京都市大学建築学科卒業 (勝又研究室)
2015 東京都市大学大学院 建築学専攻修了 (堀場研究室)
2015 NTT ファシリティーズ中央 入社
都市建築設計部 配属
2017 南関東支店オペレーション&メンテナンス部
横須賀R&D 配属



テラスバルコニー (写真-2)

私は、勝又研を平成25年、堀場研(修士)を平成27年に卒業し、NTTファシリティーズ中央に勤務し6年目になります。
入社時に配属されたNTT通信用建物の設計部署から異動して、一昨年には日本電信電話株式会社のNTT横須賀研究開発センタ(研究所)に常駐し、FM建築設計担当として仕事をしています。当研究施設は、築約50年の延床面積 約93,000㎡、地上12階の地域最大規模の建物で、小高い丘の頂上に立っています。(写真-1)
建物の特徴は、研究活動の内容変更に伴う実験室・研究室のプラン変更に対応できるように室内の壁はすべて可動間仕切壁で、外構に至るまで全て1350mmグリットで構成されています。設計者のこだわりが詰まったこの建物は、社内の建築系社員からも人気があり、シンボリックな建物です。(第19回BELCA賞受賞) 私は、この建築に携われることを大変誇りに思っています。
ここでの私の業務は、建物維持管理やNTT研究活動サポートのための改修工事の企画・提案から設計、積算、契約発注、監理までを一人で任されています。具体的には、NTTの総務担当者や利用者である研究者の声を直接聞き、数十年後の建物の姿あるいは利用スタイルをイメージしながら総合的検討を行い提案・実施を進めています。

最近行った改修では、働き方改革導入による職場環境構築の一環として施設内共有部のトレーニングルームやバルコニーの改修を行いました。(写真-2)
どちらも竣工以来改修歴が無く、どことなく堅い雰囲気を利用頻度も少ないエリアでした。そこで、色にこだわリフレッシュできる空間を造り、富士山の眺望を活かしたテラスバルコニーを開設しました。(写真-3)
他の共有部や執務エリアと印象を大胆に変えることができ、今ではお昼時にこのテラスでランチをする姿が見えるようになりました。
私は、自分のポリシーとして常に建築的アンテナを張り、利用者との日々の会話の中から施設に求められている真の要望を導き出して施設維持管理の改修+αの提案を行うように心掛けています。改修工事には、新築にはない改修ならではの難しさが多々あります。それを踏まえて、改修だけに留まらない“アップデートする建築”を目指しています。
現在、日本の建築物ストック床面積は、約77億㎡あります。(国交省H30年) これらの建物に対してひとつでも今より良い建物として社会に再提供できるよう自分をアップデートし、これからも精進していきます。

(NTTファシリティーズ中央)



日本電信電話㈱NTT横須賀研究開発センタ(研究所)(写真-1)



富士山の眺望を活かしたテラスバルコニー (写真-3)

阿部里衣菜

(H27 卒)

■file-100 学生時代には学ぶ機会が少ない設備という仕事と役割



ABE Riina
2015 東京都市大学建築学科卒業
(小林研究室)
2015 安藤・間入社

私が高校生の頃授業の一環として自分で気になる大学の体験授業を選択して受けられる機会がありました。建築学科に興味があった私は建築学科の授業を選択しその時講師をされていたのが後にお世話になる小林茂雄先生でした。私はその講義の中で照明による建築の見せ方やその場の環境が与える心理的効果も建築学で学ぶことができることを知りました。
大学に入学し小林研究室で活動が始まり、オリジナルランプシェードの照明計画や日常にありふれた自然環境をより体感する為の作品を飾り、見ず知らずの人に影響を与えることの面白さを学び仕事もそういった自分で考えた計画で人に影響を与えられるようなことをしたいと考えるようになり、ご縁があって安藤・間の設備職(電気)として入社をしました。
弊社の設備社員は入社してから3年間はジョブローテーションがあり設計・現場・積算を一通り経験します。
各部門、配属当初は上司や先輩のお手伝い、後半は担当物件を持ち、主体的に動きながら社内の担当者同士で調整を行ったり、お客さんと打合せを行います。例えば設計の場合、社内の調整会議であれば設備の必要なスペース(機器置場やPS・EPS)を意匠設計者や構造設計者に依頼をし、設備ルートを確保することが必要となります。またお客さんとの打ち合わせではお客さんが使う機器を部屋ごとにヒアリングし、必要設備を計画します。現場では機械設備電気設備関係なく設計者

とサブコンと建築の現場管理者と調整を取りながら施工を進めていきます。積算では見積もりの構成を理解して金額をまとめていきます。ローテーションで一通りの仕事を経験して感じたことは部門関係なく広く深く知識を広げることが必要だということでした。
4年目になり希望通り設備設計部の電気設計者として社員寮や研究所、工場など様々な用途の物件の担当となりました。電気設計は建築学科出身者より電気学科や電子学科など電気専門としてきた方々が多いので私は他の電気社員と比べ電気の知識が乏しい状況でした。その分本配属になってからより一層電気の勉強をしたり、最新の機器の情報を各メーカーのカタログや展示会から仕入れ専門知識を身につけるよう心掛けました。
複数の物件を設計していく中で、新しい用途の物件を任される度に分からないことに直面することが多く、問題をクリアにしていけることが大変なこともあります。無事に竣工を迎えた時は達成感を感じることが出来ます。入社6年目となった最近ではローテーション期間中である3年目の頃ではできなかった建物や、そこを使用するお客さんを理解して自分の考えを図面に反映させることが少しずつ出来るようになっていくことに、楽しさを感じることができるようになりました。
今後はあまり経験できないような特殊用途の物件を経験し、特殊用途の設計ができる希少な設計者になれるように精進していきたいと思っています。(安藤・間)

■file-101 積算業務と竹中工務店のグループ会社としての役割

福下由夏

(H25 卒)

FUKUSHITA Yuka
2013 東京都市大学建築学科卒業(岩下研究室)
2013 TAK-QS 入社



作業所から直接、積算対応や予算書作成を依頼された時には作業所に何度も出向いて打ち合わせを行い、改めて1つのプロジェクトを完成させる為にたくさんの人が携わっている事を実感しました。携わった入札案件の受注が決まった際には、プロジェクトの一員として担当者の方々と喜びを分かち合えてとても嬉しかったです。受命後も、建築主の要望に沿った新しいプランや変更内容を折込んだ図面が出図され、そのつど積算対応を行い、前回からの比較資料を作成するなど大変な面もありますが、建物の予算に関わる大切な役割なので担当の方々と詳細の確認を重ねながら進めてきました。
こうして様々な苦労を1年近く重ね、建設期間中も作業所からの問い合わせなどに対応を続けてきたプロジェクトが無事、竣工を迎えた時、私は大きな達成感を得ることができました。

社員は比較的年齢層が若く、女性も多いので互いに相談をしやすい環境です。今年はコロナ禍で外出自粛を余儀なくされましたが、在宅勤務体制が進み、自宅で仕事ができる環境を整えられ、新しい生活スタイルを体験する事ができています。
入社してから8年目となりましたが、積算という仕事を通して様々な経験をし、資格の取得など自身の成長にも繋がりました。多くのプロジェクトに携わることができた一方で、まだまだ学ぶ事は多く、職場の方を始め様々な関連部署の関係者の協力を得ながら業務を進めています。これからも求められている以上の要望に応えられるよう努力を続け、依頼して良かったと言っていただけの様に頑張りたいです。

(TAK-QS)

都市大校友オンライン & 如学会データベース

「都市大校友オンライン」



東京都市大学と東京都市大学校友会では、校友会会員のプライバシーと個人情報の保護を最優先しつつ、東京都市大学校友会会員へのサービス向上を図ることを目的としたインターネット・クラウドサービス「都市大校友オンライン」の運用を2018年より開始しています。

ー「都市大校友オンライン」登録・利用によるメリットー

- ① 校友会会報誌「都市」が、毎年必ず無料で送られてきます。
- ② 校友会、地元支部から様々なイベントの案内が届きます。
- ③ 『学生時代、同じサークルに所属していた他学科、他学年の旧友』を検索・探し出すことが出来ます^{注)}。
- ④ 引越し、転勤後に校友会への住所変更が自分自身で簡単に出来ます。
- ⑤ 同窓会を開催するときに要となる、名簿が容易に作れます。

注)個人情報の第3者への開示設定は、自分自身で可能です。



校友会・バス企画ツアー

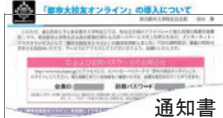
校友会・ホームカミングデー

「都市大校友オンライン」の操作方法

【初回ログイン】

■Step-1 事前準備『導入通知書』を用意する。

2018年4月に校友会から全会員に送付された封書に同封され、「ユーザIDおよび初期パスワード」が記載されている通知書です。



通知書

■Step-2 ログイン

- ① 東京都市大学 校友会のホームページを開く。
- ② 「ようこそ画面」
- ③ 「ログイン画面」→「ユーザIDおよび初期パスワード」を入力
- ④ メールアドレス、生年月日を入力
- ⑤ ログイン完了＝「ホーム画面」



①【校友会ホームページ】②【ようこそ画面】③【ログイン完了】

■Step-3 登録内容の確認・更新

- ⑥ 画面左「プロフィール確認・変更」を選択する。
- ⑦ データの更新は、データ項目右上の「更新」ボタンを選択し、「詳細データ画面」で行う。
- ⑧ データ更新が終了したら「閉じる」ボタンを選択する。



⑥【ホーム画面】

⑦【プロフィール確認・変更画面】

⑧【詳細データ画面】

【会員の検索】

- ① 「都市大校友オンライン」にログインする。
- ② 「同級生検索」→条件を入力(複数指定可)→『検索する』ボタン
- ③ 検索結果一覧表示
- ④ その中の一件をクリック→詳細情報を表示



①【ログイン画面】②【検索画面】③【検索結果】④【詳細データ表示】



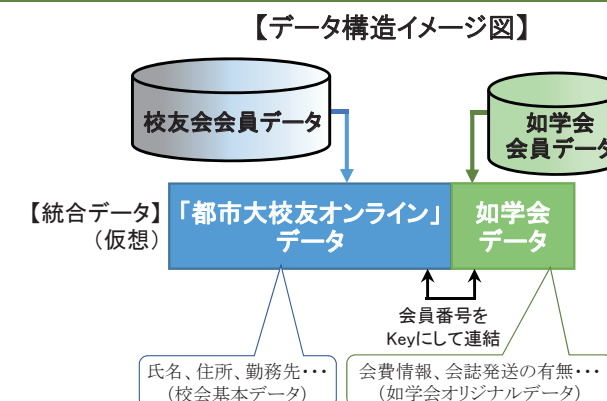
校友会HP

「都市大校友オンライン」と「如学会データベース」

「如学会データベース」

如学会では、「都市大校友オンライン」の運用開始に合わせ、従前から蓄積していた如学会会員データを「都市大校友オンライン」と一元的に連携させた「如学会データベース」を構築しました。

具体的には、右図に示すように会員一人ひとりについて「都市大校友オンライン」から氏名、住所等の基本情報を、「如学会データ」から会費・支援費の納金状況等の如学会オリジナルデータと統合して仮定の統合データとして表示します



ー「如学会データベース」の運用について(注意事項)ー

- 1) 「如学会データベース」で出来る事は、**ご自身の情報の閲覧・確認のみです。変更はできません。**
- 2) 確認できる内容は、以下の通りです。
 - ① 個人基本情報(氏名、住所、メールアドレス、勤務先等)
 - ② 如学会会費、支援費の現在の納金状況
- 3) 住所変更、勤務先変更は「都市大校友オンライン」で自分自身で直接変更して下さい。(左ページを参照)
- 4) 他会員の検索も、「都市大校友オンライン」で行って下さい。(左ページを参照)

「如学会データベース」の操作方法

「如学会データベース」のご利用には登録(初回ログイン)が必要です。

【初回ログイン】

- ① 如学会のホームページを開く。上段メニュー:「会員サービス」を選択。
- ② 「新規会員登録」ボタンを選択
- ③ 名前、住所、メールアドレス等所定の情報を入力。
- ④ 入力情報を確認し「送信ボタン」を選択
- ⑤ 送信メッセージが表示され、③で指定したメールアドレスに⑥のメールが送信されます。
- ⑥ 送信されるメール
- ⑦ 後日、担当者から「会員番号」と「パスワード」が記載されたメールが送られます。登録完了です。

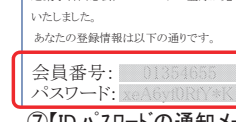
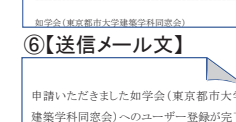
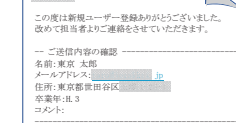
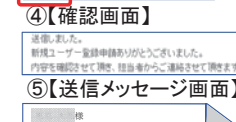


①【如学会ホームページ】



②【会員サービス画面】

③【新規会員登録画面】



⑦【ID、パスワードの通知メール】

【登録情報確認操作】

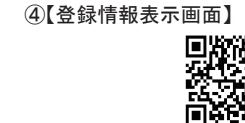
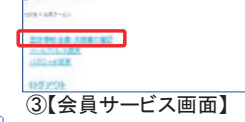
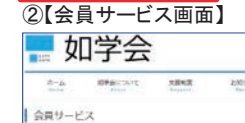
- ① 如学会のホームページを開く。上段メニュー:「会員サービス」を選択。
- ② ログインする。送信されてきたID、パスワード(⑦)を入力する。
- ③ 「登録情報・会費・支援費の確認」を選択する。
- ④ 現在、登録されている情報が画面に表示されます。

ー主な確認表示項目ー

会員番号、名前、性別、如学会NEWS郵送先、携帯電話、送信先メールアドレス、現住所、電話番号、勤務先名、勤務先電話番号、勤務先住所、卒業年、所属研究室、如学会会費納金状況他、



①【如学会ホームページ】



④【登録情報表示画面】

如学会情報委員会 露木博視(S.55)、中野秀之(S.58)

如学会が来年度予定している主な行事は下記の通りです。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

「建築都市デザイン学部」創設記念

新型コロナウイルスの影響により、延期又は中止の場合があります。如学会 HP、メールマガジンでご確認ください。

淵上正幸氏 講演会 「現代世界建築を展望する」 Overview of Contemporary World Architecture

2021.06.05 [土] 16:15-17:45 (予定)



●渋谷エクセルホテル東急
「現代世界建築を展望する」
21世紀に入ってからこの方、建設大国となった中国の牽引力で、世界の建築界は活気を呈してきた。そこにはザハ・ハジド・アーキテクト、OMA、ピヤルケ・インゲルス (BIG)、スティーヴン・ホールなど、スーパースター建築家たちの活躍が光っているが、彼らの次世代を担う建築家も台頭し始めている。その辺りを含めた話題の建築を紹介したい。
淵上正幸氏 (建築ジャーナリスト)



編集後記

新型コロナウイルスが依然猛威をふるっています。春号で全世界で患者が10万人を超えたとの報道を伝えましたが、今や4,000万人を超え、死者は100万人を超えたようです。
建築100人展も学園祭中止に伴い、大学展・浅草展を開催しない運びになりました。新型コロナ禍で、思うように如学会活動が実施できません。発刊も大幅に遅れてしまいました。そんな中でも、前期進路ガイダンスは7月22日(水)にWEBで開催しました。84名の学生が参加しました。後期進路ガイダンスは、10月28日(水)にWEBで開催し、参加学生は83名でした。実施した事で11月11日(水)の登録者は99名でした。zoomのブレイクアウトルームを使用するのは初めてのことで何度も試行を重ねました。参加企業は減少しましたが、「新たに個人的に委員と相談が出来る『如学会進路相談室』」を設け、想像以上の成果を挙げることができました。
山岡会長が今年度で3期9年の任期を全うします。そこで「学ぶに如かず／如学会の歩み」と題してこの秋号と来年度の春号に掲載します。質量ともに充実した時期を共有出来ました。次の若い世代が如学会を自身のやり方で発展してくれることを期待しています。
丹羽謙治

定期総会・講演会・懇親会

2021.06.05 [土] 15:30-20:00 (予定)

- 15:30 ●定期総会 ●渋谷エクセルホテル東急
- 16:00 休憩
- 16:15 ●講演会 講演者：淵上正幸氏 (建築ジャーナリスト)
- 17:45 休憩
- 18:00 ●懇親会 ●渋谷エクセルホテル東急
- 20:00

※詳細はメールマガジンで追ってお知らせします。HPもご覧ください。

進路ガイダンス 2021

場所・東京都市大学 世田谷キャンパス

2021.06.16 [水] 13:00-17:00 (予定)

- 第1部 事業別仕事紹介
会場：新6号館「61B教室」(予定)
OB・OGの講師の方々から専門領域の概略をお話いただきます。
- 第2部 懇親会 17:00-19:00 (予定)
会場：1号館4階「ラウンジ・オーク」(予定)
立食形式の懇親会で、参加無料です。自由にご参加下さい。

2021.08.25 [水] 19:00-21:00 (予定)

- 「進路ガイダンス」準備会 [企業＋如学会]
大学側から就職担当の責任者を交えて、就職状況の報告等の講演をいただき、企業のOB・OGと如学会との意見交換会と懇親会を開催。

2021.10.27 [水] 13:00-19:00 (予定)

- 第1部 企業別仕事紹介 13:00-17:00 (予定)
会場：建築学科棟1階「グランドギャラリー」
OB・OGの方々と直接お話をさせていただきます。
- 第2部 懇親会 17:00-19:00 (予定)
会場：1号館4階「ラウンジ・オーク」(予定)
立食形式の懇親会で、参加無料です。自由にご参加下さい。

会費・支援費納入のお願い

是非とも旧友、先輩、後輩にご連絡いただき、会費納入の促進にご協力いただけるようにお願いします。そして、積極的に如学会活動にご参加下さい。仕事にキャリアにも多くのメリットがあります。会費・支援費のご納入いただいた方々は、如学会NEWSに添付の納入者リストにご芳名を掲載させていただいております。

会費：3,000円(1年分)／10,000円(4年分・割引料金)
支援費：5,000円／一口

納入頂ける方は必ず「内訳」をご記入の上、振込頂くようお願い致します。如学会NEWSに同封の専用の振込用紙を用いない場合は下記口座をご利用ください。

郵便局 払込取扱票 No.00160-0-174206 如学会

郵便振込以外の方法を紹介(詳しくは如学会HP)

「建築+都市/100+100人展 2020」

2021.11.06 [土] -11.07 [日] (予定)

大学展 10:00-18:00 入場無料

会場：建築学科1階グランドギャラリー

■建築と都市のOB、OGによる「100+100人展」及び、在校生の3研究会による研究発表、及び2年生課題発表などがあります。

2021.12.04 [土] -12.12 [日] (予定)

浅草展 11:00-19:00 入場無料

会場：隅田公園リバーサイドギャラリー

12.04 [土] 18:00-20:00 オープニングパーティ

赤レンガ卒業設計展 2021

2021.03.24 [水] -25 [木] 09:30-18:00 (予定)

- 会場：TOC 有明コンベンションホール (東京都江東区有明 3-5-7)
- 講評審査会
- ・日時：2021.3.25(木) 13:00-18:00 (予定)
- ・会場：TOC 有明コンベンションホール (東京都江東区有明 3-5-7)
- 参加大学
東京都市大学、宇都宮大学、神奈川大学、共立女子大学、工学院大学、芝浦工業大学、首都大学東京、昭和女子大学、中央工学校、東京工業大学、東京電機大学、東京理科大学、日本大学、日本女子大学、法政大学、前橋工科大学、横浜国立大学
- 問い合わせ
mail : akarenga2021@gmail.com
担当委員・水野誉也 redbrick2021mzn@gmail.com

各事業の申し込み 問い合わせ先

総務局長
小林秀憲

E-mail
jogakkai.info@jogakkai.jp

発行人

山岡 嘉彌

編集長

丹羽 謙治

情報委員長

露木 博視

編集顧問

松成 和夫

編集委員

酒井 孝博

勝又 英明

山口 裕照

鈴木 浩

エディトリアルデザイン

山岡 嘉彌

制作

鈴木 浩

制作・印刷

株式会社 はやと企画

発行

東京都市大学建築学科如学会
東京都世田谷区玉堤 1-28-1
〒158-8557

発行日

2020年11月15日